



茨城県

平成30年度

事業概要

茨城県古河保健所

目 次

第 1	古河保健所の概況	1
	1 管内の概況	1
	2 機構及び職員	3
	3 健康相談等業務案内	4
	4 平成 29 年度経理状況	5
第 2	事務事業の概要（総務課関係）	
	【総務課】（平成 29 年度主要事業）	
	1 庶 務	6
	2 管 理	6
	3 医療従事者免許	6
	【地域保健推進室】（平成 29 年度主要事業）	
	1 保健医療計画及び地域における施策の推進	7
	2 医療相談	7
	3 医 事	8
	4 病院等立入検査	8
	5 茨城県医療機能情報提供制度の運用	9
	6 介護保険制度の推進・支援	9
	7 地域ケアシステム事業の推進	9
	8 茨城県地域リハビリテーション総合支援事業	9
	9 学生等実習	9
	10 厚生統計調査	10
	11 在宅医療・介護の必要性と重要性の理解を図る普及・啓発事業…	10
	12 院内感染対策地域連携ネットワーク会議	11
	13 人口動態統計	13
第 3	事務事業の概要（衛生課関係）	
	【衛生課】（平成 29 年度主要事業）	17
	1 薬事衛生	18
	2 食品衛生	21
	3 生活衛生	25
	4 血液事業	27
第 4	事務事業の概要（健康指導課関係）	
	【健康指導課】（平成 29 年度主要事業）	28
	1 感染症対策事業	32
	2 結核予防事業	36
	3 エイズ・性感染症予防対策事業	41
	4 肝炎対策事業	43
	5 原子爆弾被爆者対策事業	45
	6 難病対策事業	46
	7 精神保健福祉事業	52
	8 健康づくり推進事業	56
	9 栄養改善指導・管理の推進	57
	10 食育の推進	58
	11 健康増進事業の推進	59
	12 歯科保健の推進	61
	13 総合がん対策事業	62
	14 母子保健事業	63
第 5	平成 30 年度事務事業計画	
	1 平成 30 年度事務事業執行計画	69
	2 古河保健所沿革	72

1 管内の概況

古河保健所は、茨城県の西端、関東平野のほぼ中央に位置する古河市に所在し、県都水戸市から90km、首都圏内60kmにあつて、古河市、五霞町及び境町の1市2町を管轄区域としている。

管内人口は、平成10年頃まで増加傾向にあつたが、近年は出生数の減少と高齢者の増加と相まって少子高齢化が進んでいる。

地勢は、筑波山系の西側、渡良瀬川と利根川の流域に広がる平坦地で農耕に適し、気候も温和で自然環境に恵まれた田園地帯である。

交通は、古河市の中央を南北に縦貫する国道4号バイパスが走り、これに東西に国道125号、354号及び県道つくば古河線が交差しており、市町道路網と調和して地域内外の交通を円滑にしている。

産業は、古河市中心地部は古くから商業都市として発展してきており、郊外は農畜産業が盛んで首都圏への生鮮野菜等の供給地として重要な位置を占めている。また、日野自動車古河工場が平成29年1月本格稼働し、地域経済への波及効果が期待されている。

地域医療の特色は、群馬県、埼玉県及び千葉県の県域を越えた救急医療の向上を図るため、医療機関、消防、行政等で構成されるBANDOMEディカルコントロール協議会との連携に努めている。

(表1) 管内人口

平成30年4月1日現在

市町名	人口(人)	世帯数(戸)	面積(km ²)
古河市	140,150	54,595	123.58
五霞町	8,455	2,900	23.11
境町	24,339	8,511	46.59
計	172,944	66,006	193.28

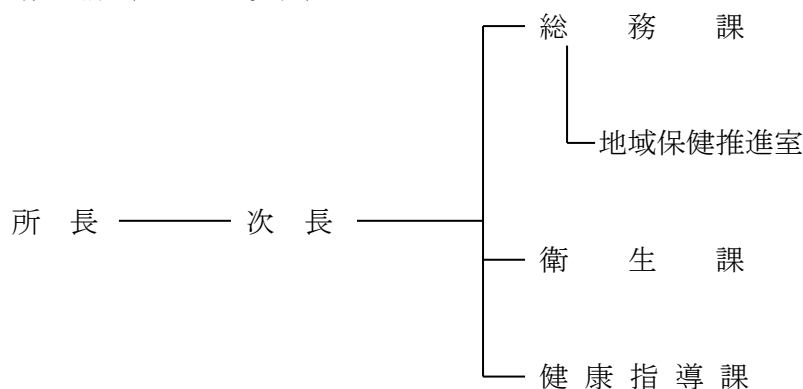
(表2) 管内高齢化率

平成30年4月1日現在

市町名	人口(人) A	高齢者数(人) B	高齢化率(%) B/A
古河市	140,150	38,313	27.3
五霞町	8,455	2,631	31.1
境町	24,339	6,739	27.6
計	172,944	47,683	27.5

2 機構及び職員

(1) 機構 (H30.4.1 現在)



総務課

- ・ 所員の身分，服務，研修，能率及び福利厚生に関すること
- ・ 医師等各種免許に関すること
- ・ 歳入歳出事務に関すること
- ・ 公有財産の維持管理に関すること
- ・ 他課の所管に属さない事項に関すること

地域保健推進室

- ・ 医事に関すること
- ・ 地域保健医療計画の推進に関すること
- ・ 介護保険法に関すること
- ・ 地域ケアシステムの推進に関すること
- ・ 医療法に基づく立入検査に関すること
- ・ 厚生統計調査に関すること
- ・ 救急医療に関すること
- ・ 地域保健推進特別事業に関すること

衛生課

- ・ 環境衛生に関すること
- ・ 水道法及び一般飲料水の衛生指導に関すること
- ・ 温泉に関すること
- ・ 薬事，毒物及び劇物，麻薬等に関すること
- ・ 薬剤師に関すること
- ・ 食品衛生に関すること
- ・ 調理師，製菓衛生師に関すること

健康指導課

- ・ 感染症に関すること
- ・ 原子爆弾被爆者に関すること
- ・ 健康づくりの推進及び栄養改善に関すること
- ・ 精神保健福祉に関すること
- ・ 難病事業に関すること
- ・ 母子保健事業に関すること
- ・ エイズ対策に関すること

(2) 職員

平成30年4月1日

職種別 課別	技術職員							事務職員	嘱託職員	計
	医師	薬剤師	獣医師	保健師	衛生検査技師	管理栄養士	農芸化学			
総務課 (地域保健推進室含む)	※Ⅰ 1			※Ⅱ 1				4	1	7
衛生課		3	2					1		6
健康指導課				※Ⅲ 5	1	1			2	9
計	1	3	2	6	1	1		5	3	22

※Ⅰ 筑西保健所と兼務職員

※Ⅱ 健康指導課と兼務職員

※Ⅲ 育休中職員1名と育休任期付職員1名を含む

3 健康相談等業務案内

平成30年4月1日

事業内容	実施日	相談時間	受付窓口
エイズ、クラミジア、梅毒 相談・検査	毎週火曜日	9時～11時（予約） （電話相談は随時）	健康指導課
精神保健相談 （老人含む）	第1火曜日	13時30分～16時（予約）	
	第3水曜日	14時～16時（予約）	
B型、C型肝炎相談・検査	毎週火曜日	9時～11時（予約）	
発達相談支援	奇数月 第2水曜日	13時～（予約）	
ひきこもり専門相談	月1回	13時30分～（予約）	
ひきこもり家族教室	毎月 第3金曜日	14時30分～16時	

4 平成29年度経理状況

(1) 歳入

(単位:円)

科目	調定額	収入額	収入未済額
使用料及び手数料	81,468	81,468	0
諸収入	745,610	745,610	0
計	827,078	827,078	0

(2) 歳出

(単位:円)

科目	予算額	支出額	残額
総務費	69,000	69,000	0
総務事務センター	69,000	69,000	0
生活環境費	136,800	136,800	0
環境対策課	136,800	136,800	0
保健福祉費	33,015,279	33,015,279	0
厚生総務課	3,441,256	3,441,256	0
保健予防課	3,139,933	3,139,933	0
長寿福祉課	1,390,129	1,390,129	0
障害福祉課	765,846	765,846	0
薬務課	426,000	426,000	0
生活衛生課	652,973	652,973	0
少子化対策課	22,702,224	22,702,224	0
医療政策課	491,918	491,918	0
医療対策課	5,000	5,000	0
計	33,221,079	33,221,079	0

【総務課】（平成29年度主要事業）

1 庶務

当所職員の人事・服務・健康等を管理するとともに資質の向上を図るため、各種研修、事務事業の効率化を図るための業務管理及び各種表彰・推薦等に関する事務を行った。

2 管理

当所予算における歳入・歳出事務と予算執行管理を行うほか、庁舎など公有財産の維持管理及び公用車の安全運転管理を行った。

3 医療従事者免許

医療従事者の各種免許証の申請事務を行った。

平成29年4月1日～平成30年3月31日

職 種		新規申請	書換訂正申請	再交付申請	抹消申請	合 計
国 免 許	医師	2	1	0	2	5
	歯科医師	2	2	0	1	5
	診療放射線技師	3	0	0	0	3
	臨床検査技師	8	2	0	0	10
	衛生検査技師	0	0	0	0	0
	理学療法士	6	3	0	0	9
	作業療法士	3	2	0	0	5
	視能訓練士	3	0	0	0	3
	歯科技工士	0	0	0	0	0
	小 計	27	10	0	3	40
	保健師	2	6			8
	助産師	2	1			3
	看護師	59	52	5		116
	小 計	63	59	5	0	127
	合 計	90	69	5	3	167

県 免 許	准看護師	11	12	5		28
	合 計	11	12	5		28

【地域保健推進室】（平成29年度主要事業）

1 保健医療計画及び地域における施策の推進

保健・医療の具体的な推進方策等を定めた「第6次茨城県保健医療計画」（平成25年度～29年度）の推進・評価を行い、「第7次茨城県保健医療計画」（平成30年度～35年度）の策定に向けて、医師会、歯科医師会、医療機関、行政等の関係者による「古河・坂東保健医療福祉協議会」を開催した。また、地域医療構想を保健医療計画の一部として平成28年度中に策定し、構想実現に向けて「古河・坂東地域医療構想調整会議」を開催し、検討・協議を実施した。

古河・坂東保健医療福祉協議会委員 平成30年3月31日現在

委員氏名	役職	備考
石塚 仁太郎	茨城県議会議員	
板橋 孝司	古河食品衛生協会会長	
太田 正	古河市医師会長	
大堀 久雄	古河市薬剤師会理事	
加藤 奨一	友愛記念病院長	
亀崎 高夫	茨城西南医療センター病院長	
木根淵 光夫	木根淵外科胃腸科病院長	
中山 道夫	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部消防長	
許斐 康司	きぬ医師会坂東支部長	
篠田 宗次	古河赤十字病院長	
芝田 佳三	猿島郡医師会長	
鈴木 昇	古河市社会福祉協議会副会長	
高橋 勝則	老人保健施設平成園施設長	
斉藤 直樹	古河警察署長	
橋本 正一	茨城西南歯科医師会長	
針谷 力	古河市長	
宮本 留美子	茨城県看護協会古河坂東地区理事	
森川 玲子	古河くらしの会長	
森田 悦男	茨城県議会議員	
山田 まさ子	古河保健所管内食生活改善推進団体連絡協議会長	

(五十音順)

2 医療相談

医療施設に対する苦情や相談について、相談内容から改善や確認等が必要と判断した場合は、関係機関に事情等を聴取し適切に対応し、診療内容については、医療安全相談センター等を紹介した。

<平成29年度相談状況>

相談件数 12件

3 医 事

医療法、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゆう師等に関する法律、柔道整復師法、歯科技工士法、その他関係法令に基づく開設許可申請・届出の処理をした。

病 院

平成30年4月1日現在

市町名	病院数	許 可 病 床 数					
		総 数	精 神	結 核	感 染 症	療 養	一 般
古河市	8	1,662	649		2	168	843
五霞町							
境 町	1	358			2		356
計	9	2,020	649		4	168	1,199

診療所・助産所・施術所・歯科技工所

平成30年4月1日現在

市町名	一般診療所		歯 科 診療所数	助産所数	施術所数	歯 科 技工所数
	診療所数	病床数				
古河市	80	65	67	2	137	25
五霞町	3		2	1	5	
境 町	13	10	14		20	3
計	96	75	83	3	162	28

4 病院等立入検査

病院等が医療法その他の法令に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否かについて検査することにより、病院等を科学的で、かつ、適正な医療を行う場にふさわしいものとするを目的として、医療法第25条に基づく立入検査を実施した。

<平成29年度立入検査実施状況>

区 分		検 査 回 数	平成29年4月1日 現在施設数	実施施設数	改善指導施設数
病 院		年1回	9	9	8
診療所	有床	3～5年に1回	7	2	2
	無床		88	16	14
歯科診療所			82	20	15
助産所			3		
計				189	47

5 茨城県医療機能情報提供制度の運用

病院、診療所及び助産所の適切な選択を支援するため、管内の一般診療所・歯科診療所等から年1回の定期報告及び随時の変更等で提供された情報を、いばらき医療機関情報ネット (<http://www.ibaraki-medinfo.jp>) に掲載し、住民に最新の医療情報を提供した。

6 介護保険制度の推進・支援

介護保険制度の円滑な推進を図るために、新しく介護認定調査に従事する者に対し、介護保険認定調査を行うために必要な知識及び技能を習得し、公平・公正かつ適正な調査ができるように研修会を開催した。

また、現任の介護認定調査員の資質向上を図るための研修会を開催した。

- ・介護認定調査従事者新規研修会 全保健所で共同開催

第1回 169名受講修了 (内管内13名)

1日目 平成29年 4月25日(火) 茨城県市町村会館

2日目 平成29年 5月24日(水) 茨城県市町村会館

第2回 86名受講修了 (内管内6名)

1日目 平成29年 8月10日(木) 県立健康プラザ

2日目 平成28年 9月7日(水) 県立健康プラザ

- ・介護認定調査従事者現任研修会 筑西保健所が事務局となり、つくば・古河保健所が協力し開催した

平成30年 1月16日(火) 117名受講(内管内25名)

筑西合同庁舎 大会議室

講義「基本調査項目のポイントと特記事項の記載方法」

グループワーク「基本調査項目及び特記事項の記載について確認」

7 地域ケアシステム事業の推進

県西県民センター県民福祉課と連携し、市町が実施する高齢者及び障害者等を対象とした地域ケアシステム推進事業への支援を行った。

8 茨城県地域リハビリテーション総合支援事業

高齢者や障害者等が住みなれた地域で適切なりハビリテーションを受けることができるよう、地域リハビリテーション支援体制の整備を推進することを目的とし、指定した医療機関に対し補助金の交付及び事業の支援を行った。

指定医療機関

- ・広域支援センター

茨城西南医療センター病院

- ・地域リハ・ステーション

茨城西南医療センター病院, 総和中央病院, 古河赤十字病院

- ・小児リハ・ステーション

茨城西南医療センター病院

9 学生等実習

保健・医療・福祉全般にわたる広い視野と高い見識を養い、公衆衛生行政の現状や今後のあり

方を理解し、積極的な関心を喚起することを目的に実習生を受け入れた。

<平成29年度受入状況>

学 校 名	期 間	人数
筑波大学医学専門学群 (医学生 4年)	平成29年6月19日～6月30日(5日間)	5名
獨協医科大学医学部 5年	平成29年9月26日～9月29日(4日間)	3名
筑波大学医学専門学群 (看護学生)	平成29年6月5日～6月9日(5日間)	3名

10 厚生統計調査

保健衛生行政の資料とするための、医療施設調査、病院報告、患者調査、地域保健・健康増進事業報告等の統計調査・報告を、管内市町・病院施設等の協力を得て取りまとめた。

医療関係従事者数

平成28年12月31日現在

市町名	医 師	歯科医師	薬剤師	保健師 助産師 看護師 准看護師	計
古河市	204	113	223	1,268	1,808
五霞町	2	3	16	31	52
境 町	73	18	57	438	586
計	(160.7) 279	(77.2) 134	(170.5) 296	(1,000.8) 1,737	(1,409.3) 2,446

※「平成28年茨城県医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」・「保健師助産師看護師の現状」(平成28年度)より

※ 管内人口 173,567 人

茨城県企画部統計課「茨城県常住人口調査結果報告書(平成28年10月1日現在)」より

※ 計()内:人口10万対比率

11 在宅医療・介護の必要性と重要性の理解を図る普及・啓発事業

1. 医療提供施設等グループ化推進事業

在宅医療のニーズに対応していくため、在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする病院又は診療の裾野を広げるため、医療機関による連携を図り、地域で支え合う体制構築(参入促進・連携(グループ化))の取組を支援するため補助金を交付した。

交付先:一般社団法人古河医師会

2. 4保健所管内合同市町在宅医療・介護連携推進事業担当者会議

介護保険法の地域支援事業の包括的支援事業において、近隣市町の状況について相互理解を図り、広域連携を効果的に進めることを目的に、つくば、筑西、常総、古河の4保健所合同で実施した。

第1回 平成29年 5月18日(木) 13:30~16:00

場 所 下妻市立下妻公民館2階大会議室

出席者 36人

内 容 (1) 茨城型地域包括ケアシステム推進事業新規事業について
(2) 各市における在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況報告
(3) 意見交換

第2回 平成29年 8月25日(金) 13:30~16:00

場 所 県西生涯学習センター2階小会議室

出席者 27人

内 容 (1) 情報提供
(2) 在宅医療・介護連携推進事業の取組上の課題検討
(3) 在宅医療・介護連携推進事業に係る情報共有の仕組みづくり

第3回 平成30年2月27日(火) 13:30~16:00

場 所 県西生涯学習センター2階小会議室

出席者 28人

内 容 (1) 在宅医療・介護連携推進事業に係る情報共有の仕組みづくり
(2) 平成29年度茨城型地域包括ケアシステム推進事業実績について
(3) 平成30年度茨城県における新規事業について

3. 4保健所管内合同市町介護予防担当者会議

介護予防事業に取り組む市町村職員等に対し、事業の企画、実施、評価等に関する研修を実施し、介護予防に関する専門性を有する職員を養成し、事業の適切かつ効果的な推進を図るため、つくば、筑西、常総、古河の4保健所合同で実施した。

開 催 日 平成29年10月30日(月) 13:30~16:00

場 所 筑西合同庁舎 大会議室

出席者 18名

内 容 (1) 講義「認知力アップディケアについて」

講師：筑波大学附属病院 臨床心理部 認知力アップディケア担当
臨床心理士 金田 祐子先生

筑波大学附属病院 認知症疾患医療センター
健康運動指導士 根本 みゆき先生

(2) 意見交換「介護予防事業における認知症対策について」

12 院内感染対策地域連携ネットワーク会議

管内9病院の院内感染対策における地域連携ネットワークを構築し、日常的な相互の協力関係を築くことを目的に、古河保健所管内でネットワーク会議、管内医療機関に協力をいただき院内ラウンド研修を実施した。

1. ネットワーク会議

開 催 日 平成29年 9月28日(木) 14:00~15:00

場 所 古河保健所2階大会議室
参 加 者 27名（管内院内感染対策担当者等）
内 容 (1)管内病院における院内ラウンドの実施状況について
①アンケート結果
②友愛記念病院における実施状況について
(2)院内ラウンド研修実施について

2. 院内ラウンド研修

平成29年11月21日（火） 14:00～15:45

場所 医療法人茨城愛心会 古河病院

参加者 28名（管内医療機関8病院職員，看護学生等）

内容 (1) 病院内の感染症対策ラウンド
(2) ラウンド実施後の意見交換

13 人口動態統計（平成28年）

(1) 人口動態総覧

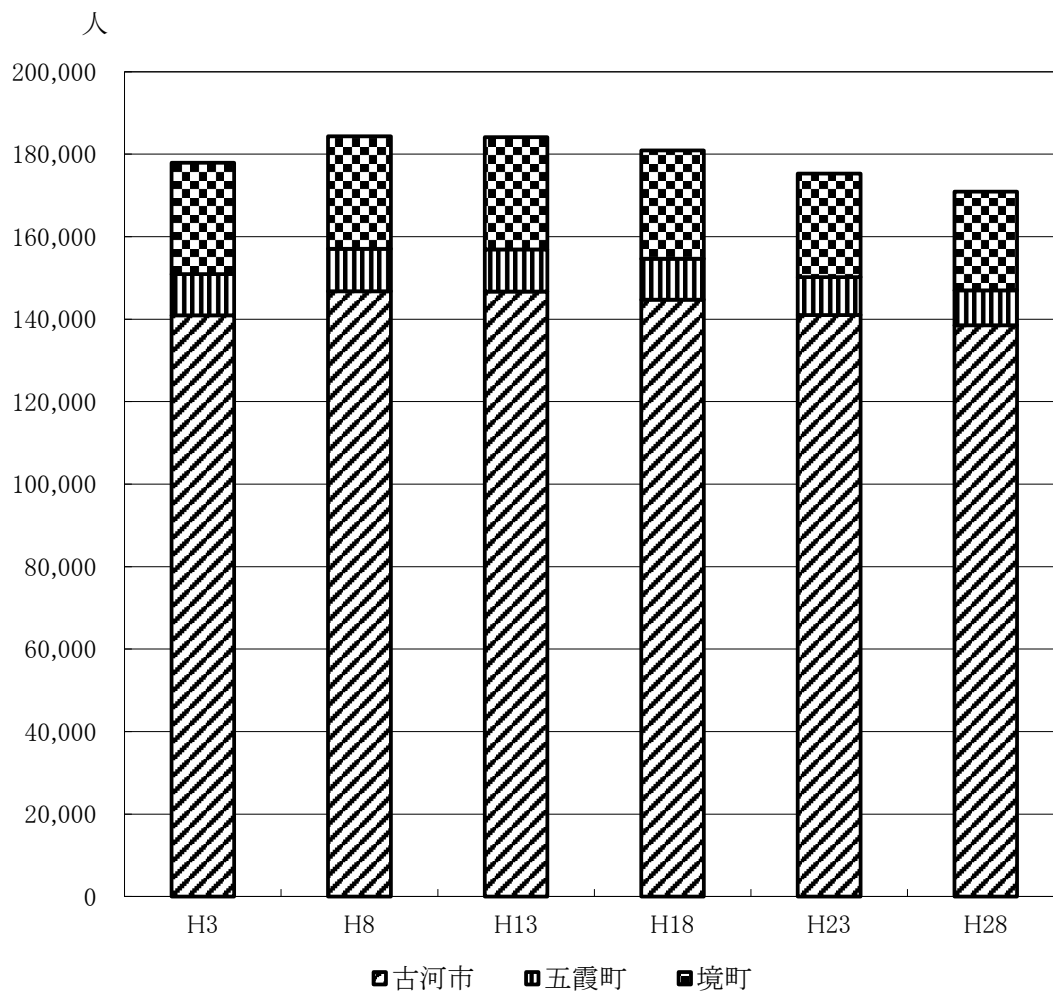
市町等	日本人人口	出生					死亡					自然増			
		総数	男	女	率 〔人口1,000対〕	出生の性比 (女100)	総数	男	女	率 〔人口1,000対〕	総数	男	女	率 〔人口1,000対〕	
管内	170,930	1,231	600	631	7.2	95.1	1,925	1,025	900	11.3	-694	-425	-269	-4.1	
古河市	138,486	1,015	501	514	7.3	97.5	1,498	803	695	10.8	-483	-302	-181	-3.5	
五霞町	8,510	47	22	25	5.5	88.0	106	53	53	12.5	-59	-31	-28	-6.9	
境町	23,934	169	77	92	7.1	83.7	321	169	152	13.4	-152	-92	-60	-6.4	
茨城県	2,861,000	20,878	10,710	10,168	7.3	105.3	31,414	16,337	15,077	11.0	-10,536	-5,627	-4,909	-3.7	
全国	125,020,252	976,978	501,880	475,098	7.8	105.6	1,307,748	674,733	633,015	10.5	-330,770	-172,853	-157,917	-2.6	

市町	乳児死亡				新生児死亡		死産						周産期死亡			婚姻		離婚	
	総数	男	女	率 〔出生1,000対〕	総数	率 〔出生1,000対〕	総数		自然		人工		総数	妊 娠 満22週 以後	早 期 新生児 死亡	総数	率 〔人口1,000対〕	総数	率 〔人口1,000対〕
							総数	率 〔出産1,000対〕	数	率 〔出産1,000対〕	数	率 〔出産1,000対〕							
管内	1		1	0.8	1	0.8	17	13.6	11	8.8	6	4.8	4	3	1	796	4.7	353	2.07
古河市	1		1	1.0	1	1.0	15	14.6	9	8.7	6	5.8	4	3	1	652	4.7	292	2.11
五霞町																30	3.5	10	1.18
境町							2	11.7	2	11.7						114	4.8	51	2.13
茨城県	40	13	27	1.9	21	1.0	423	19.9	208	9.8	215	10.1	83	70	13	13,201	4.6	4,816	1.68
全国	1,928	980	948	2.0	874	0.9	20,934	21.0	10,067	10.1	10,867	10.9	3,516	2,840	676	620,531	5.0	216,798	1.73

※死産率は死産数を出産数（出生数＋死産数）で除している

「平成28年茨城県人口動態統計（確定数）の概況」（茨城県保健福祉部厚生総務課）より

(2) 管内人口推移

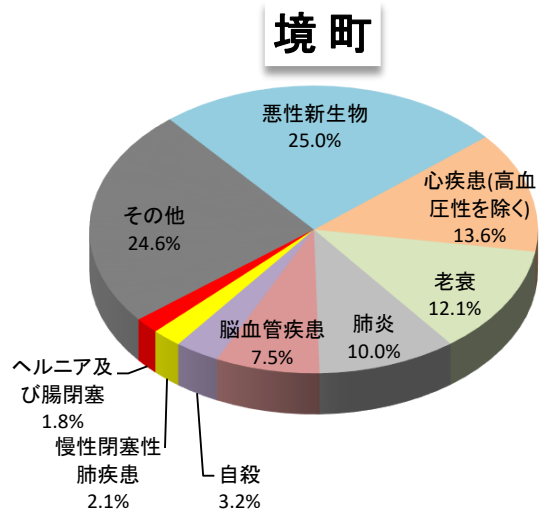
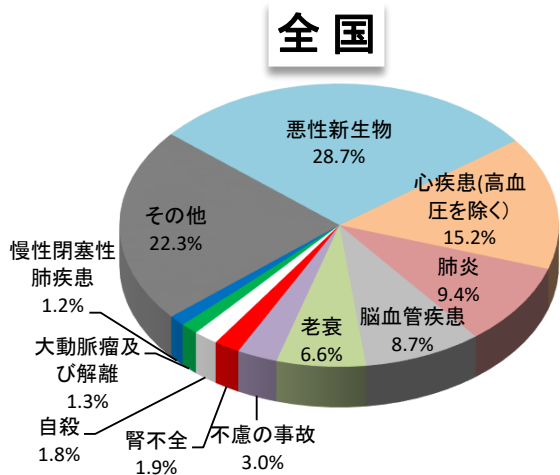
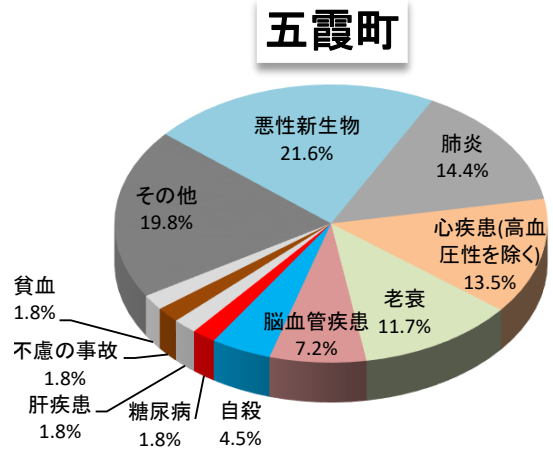
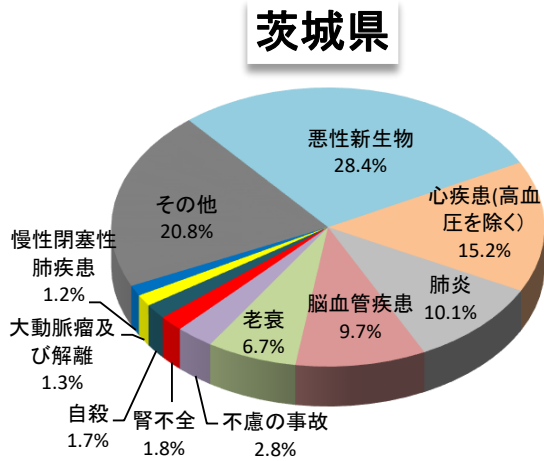
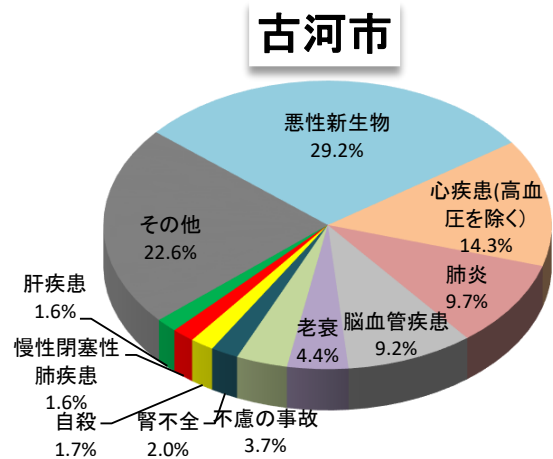
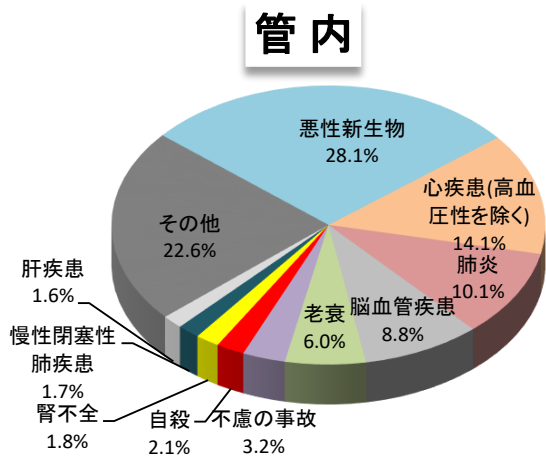


(単位：人)

市 町 名	H3	H8	H13	H18	H23	H28
管 内	177,908	184,308	184,113	180,894	175,262	170,930
古 河 市	140,965	146,782	146,701	144,760	140,990	138,486
五 霞 町	9,979	10,306	10,239	9,874	9,229	8,510
境 町	26,964	27,220	27,173	26,260	25,043	23,934

※昭和63年～平成15年 古河市の人口は、旧古河市、旧総和町、旧三和町の人口の総数である。

(3) 死因順位の比較 (平成27年)

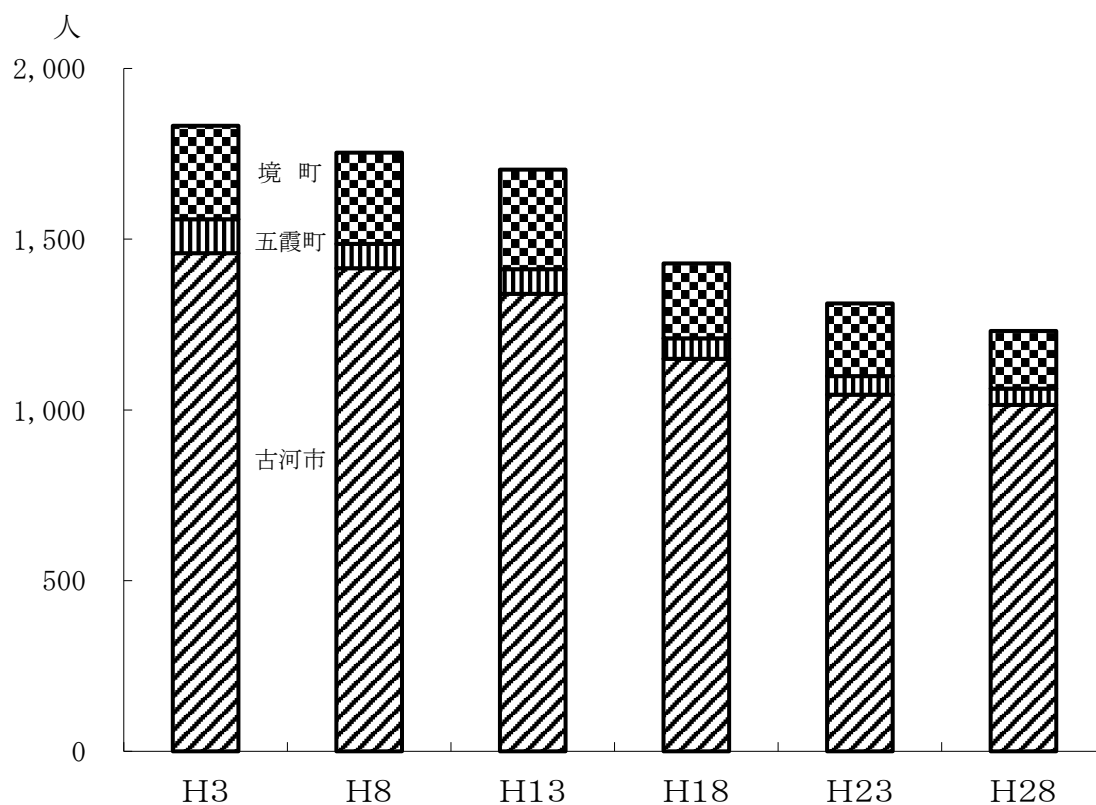


(4) 管内出生数の推移

管内出生数は、平成3年1,832人から平成28年1,231人と601人減少している。

管内出生率は、平成3年10.3（人口1,000人当たり）から平成28年7.2と3.1ポイント減少しており、少子化が進んでいる。

出生数の推移



市町名	H3	H8	H13	H18	H23	H28
管内	1,832	1,753	1,704	1,429	1,312	1,231
古河市	1,459	1,415	1,340	1,150	1,045	1,015
五霞町	99	71	72	60	54	47
境町	274	267	292	219	213	169

管内人口	177,908	184,308	184,113	180,894	175,262	170,930
管内出生率 (人口千対)	10.3	9.5	9.3	7.9	7.5	7.2

【衛生課】（平成29年度主要事業）

1 薬事衛生

- (1) 薬局及び医薬品販売業等の許可、施設の改善並びに医薬品の取扱管理について指導を行い、医薬品等の品質及び安全性の確保に努めた。
- (2) 毒物劇物販売業等の登録及び毒物劇物の保管管理、譲渡手続等の指導を行い、毒物劇物に起因する危害の発生防止に努めた。
- (3) 麻薬取扱者に対し麻薬の管理使用の適正化について指導を行うとともに、覚せい剤等の薬物乱用を防止するため、茨城県薬物乱用防止指導員等による啓蒙活動を行った。また、不正大麻・けし栽培の発見抜去にも努めた。

2 食品衛生

- (1) 飲食店等営業施設の許可及び監視指導を行い、飲食に起因する危害の発生防止に努めた。また、平成28年度茨城県食品衛生監視指導計画を策定し、当該計画に基づき監視指導を実施した。
- (2) 自主管理体制の強化を図るため、食品衛生協会と協力し、食品衛生推進員等の活動の振興と HACCP 普及促進事業の推進に努めた。併せて、「いばらきハサップ」認証施設の監視指導を実施した。
- (3) 社会福祉施設等の給食施設で拭き取り検査を実施し、施設の汚染状況を数値化することで、衛生状態の向上を促し食中毒の防止に努めた。
- (4) 不良食品を排除するため、県内で製造、加工及び販売される食品の収去試験検査を行い、その結果に基づき自主検査の重要性を周知した。
- (5) 食品衛生フェア・食品に関係するリスコミを開催することで、食品衛生の普及・啓発に努めた。
- (6) 食中毒で最も多いノロウイルスの食中毒予防対策として、食品衛生協会と協力し、地域の幼稚園・保育所・小学校等を対象に講習会を開催し、発生予防対策を図った。

3 生活衛生

- (1) 旅館業、興行場、公衆浴場、理容所、美容所、クリーニング所、特定建築物、建築物登録業、遊泳用プールの許認可届出事務及び立入検査を行い、衛生指導を行った。
- (2) 入浴施設におけるレジオネラ症発生を防止するため、公衆浴場・旅館の指導・監督を行い、レジオネラ症発生防止等の指導に努めた。
- (3) そ族、衛生害虫、不快害虫の相談に対し、駆除対策等の指導を行った。
- (4) 上水道、簡易水道、専用水道及び小規模水道の設置者に対し、水道の布設、水質検査の実施及び適正な維持管理を指導し安全な水の供給に努めた。

4 血液事業

- 医療技術の高度化等による血液製剤需要の増加に対応するため、市町との連携を図り献血の推進に努めた。

1 薬事衛生

(1) 薬事関係の許可（登録等）監視指導状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

平成30年3月31日現在

業種	区分	申請件数		許可件数		現在数	監視指導件数	処件数
		新規	更新	新規	更新			
(医薬品医薬機器法関係)								
薬局製剤製造販売業						8	2	
薬局製剤製造業						8	2	
薬局		5	20	5	20	87	87	3
店舗販売業		4	9	4	9	40	25	
卸売販売業		3		3		25	11	
特例販売業		/	2	/	1	2	1	
高度管理医療機器等販売業		11	8	11	8	81	46	
管理医療機器販売業		/	/	/	/	657	43	
高度管理医療機器等貸与業		3	2	3	2	26	16	
管理医療機器貸与業		6	/	/	/	20		
(毒物及び劇物取締法関係)								
毒物劇物製造業			2		2	12	18	
毒物劇物輸入業			1		1	2	3	
毒物劇物販売業		5	25	5	25	114	78	1
特定毒物研究者		/	/	/	/			
毒物劇物業務上取扱者		/	/	/	/	3		
(麻薬及び向精神薬取締法関係)								
麻薬管理者免許		9	/	9	/	12	10	1
麻薬施用者免許		110	/	110	/	234	21	1
麻薬卸売業者免許		/	/	/	/			
麻薬小売業者免許		40	/	40	/	68	69	
麻薬研究者免許		2	/	2	/	3	1	
向精神薬研究施設設置者		/	/	/	/	4		
(覚せい剤取締法関係)								
覚せい剤原料取扱者		1	/	1	/	1		
覚せい剤原料研究者		/	/	/	/	1	1	
覚せい剤研究者		2	/	2	/	2	1	
計		201	69	195	68	1,410	435	6

(2) 麻薬関係の状況

平成30年3月31日現在

区 分	施設数	麻薬取扱 施設数	麻 薬 管理者	麻 薬 施用者	麻 薬 研究者	麻薬小 売業者	麻薬卸 売業者
病 院	9	7	5	171			
診 療 所	96	29	6	49			
歯科診療所	83						
動物診療所	17	13	1	12			
麻薬研究者	3				3		
薬 局	87	68				68	
卸売販売業	25						
計	320	117	12	224	3	68	

(3) 薬物乱用防止活動状況

年 度	H27			H28			H29		
対策班員	8			8			8		
開催回数	5			4			2		
啓発人数	3,954			3,198			2,000		
活動内容 及び回数	街頭キャン ペーン	講習会	その他	街頭キャン ペーン	講習会	その他	街頭キャン ペーン	講習会	その他
	2	3		2	2		2		

(4) 不正大麻・けし抜去状況

大麻：なし

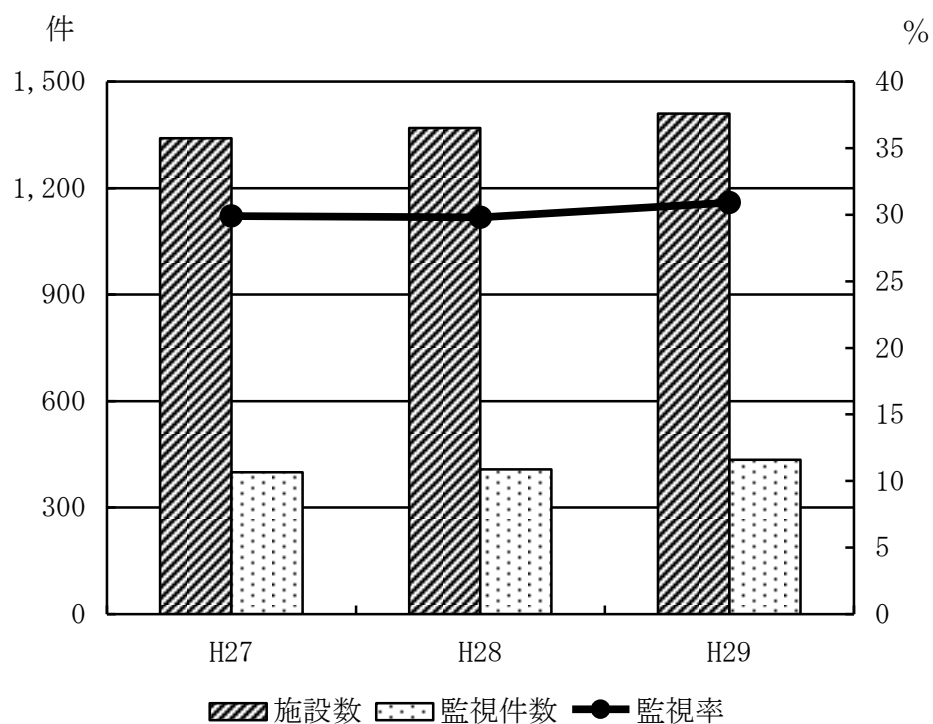
けし：発見箇所数 13ヶ所，抜去株数 1157本

(5) 市町別薬局及び医薬品販売業施設数

平成30年3月31日現在

市町	業種	薬局	店舗販売業	卸売販売業	特例販売業
古河市		74	36	23	1
五霞町		1	2	2	0
境町		12	2	0	1
計		87	40	25	2

(6) 薬事関係監視件数



2 食品衛生

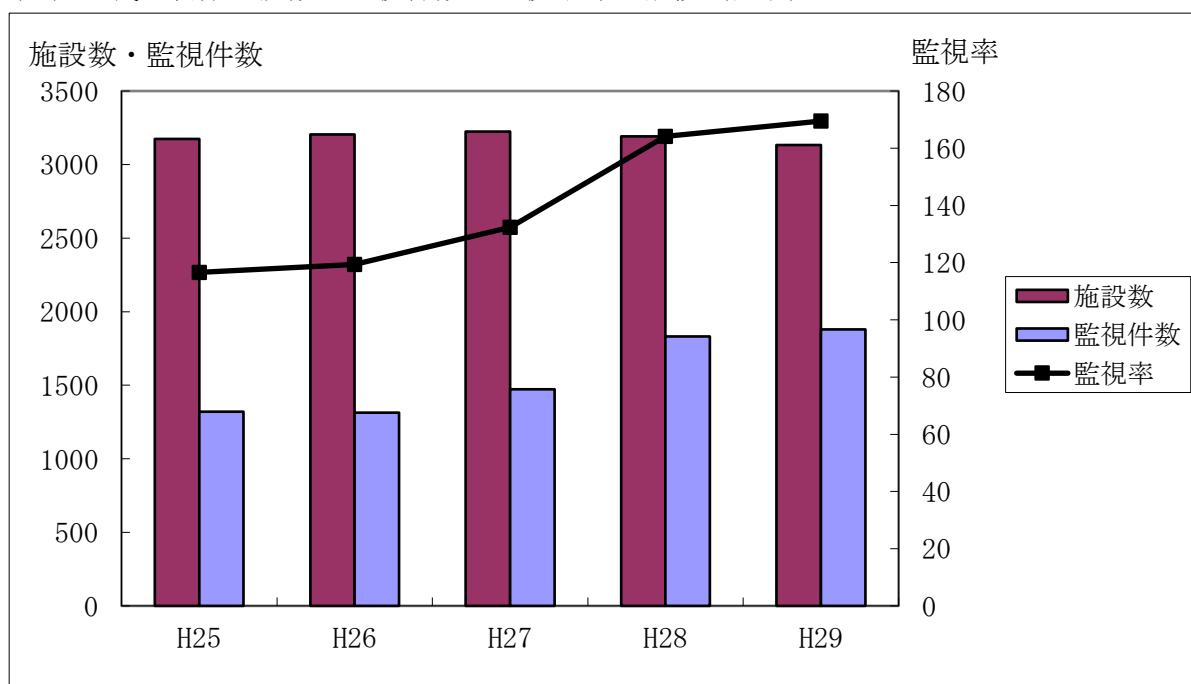
平成 29 年度 食品営業申請許可及び監視指導状況

(1) 食品衛生関係調

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

業 種	前年度末 施設数	申 請 数				許 可 数		未許可 件 数	不許可 件 数	廃 業 数	現 在 数	立入検査目標 回 数	監 視 件 数	立入検査 実施率	処 分 件 数
		新 規		更 新		新 規	更 新								
		前年度 繰越分 件数	本年度 受付分 件数	前年度 繰越分 件数	本年度 受付分 件数										
ア施設							ウ施設	ア+イ+ウ 施設	(A) 件数	(B) 件数	B/A%				
飲 食 店 営 業	1,684	2	229	18	194	229	212	2		236	1,677	480	922	192.1	
菓 子 製 造 業	205		24	1	24	24	25			27	202	199	210	105.5	
乳 処 理 業	2										2	2	4	200.0	
特別牛乳搾取処理業															
乳 製 品 製 造 業	4				1		1				4	4	7	175.0	
集 乳 業															
魚 介 類 販 売 業	210		19	2	17	19	19			20	209	50	114	228.0	
魚介類せり売り営業															
魚肉ねり製品製造業	1										1	1		0.0	
食品の冷凍又は冷蔵業	19		1		3	1	3				20	15	24	160.0	
缶詰又は瓶詰め食品製造業	10			2	2		4				10	10	13	130.0	
喫茶店営業	314		18	6	29	18	35			49	283	63	94	149.2	
あ ん 類 製 造 業	1										1	1	17	1700.0	
アイスクリーム類製造業	21		2		2	2	2			2	21	4	15	375.0	
乳 類 販 売 業	341		28	3	31	28	34			48	321	68	156	229.4	
食 肉 処 理 業	17				2		2				17	18	14	77.8	
食 肉 販 売 業	224		20	4	20	20	24			21	223	53	122	230.2	
食 肉 製 品 製 造 業	6				3		3				6	6	14	233.3	
乳 酸 菌 飲 料 製 造 業	2				1		1				2	2	5	250.0	
マーガリン又はショートニング製造業															
み そ 製 造 業	5		2		1	2	1				7	5	10	200.0	
醬 油 製 造 業	1										1	1	2	200.0	
ソ ー ス 類 製 造 業	13				2		2				13	13	17	130.8	
酒 類 製 造 業	4		1		1	1	1				5	4	4	100.0	
豆 腐 製 造 業	23				3		3				23	23	23	100.0	
納 豆 製 造 業	1										1	1	1	100.0	
め ん 類 製 造 業	23		1	1	1	1	2			1	23	24	18	75.0	
そ う ざ い 製 造 業	39				9		9				39	40	48	120.0	
添 加 物 製 造 業	8				2		2				8	8	9	112.5	
食品の放射線照射業															
清 涼 飲 料 水 製 造 業	12										12	12	16	133.3	
氷 雪 製 造 業															
氷 雪 販 売 業	2				1		1				2	2	1	50.0	
計	3,192	2	345	37	349	345	386	2		404	3,133	1,109	1,880	169.5	

(2) 食品営業施設数・監視件数・監視率等の推移 (法令)

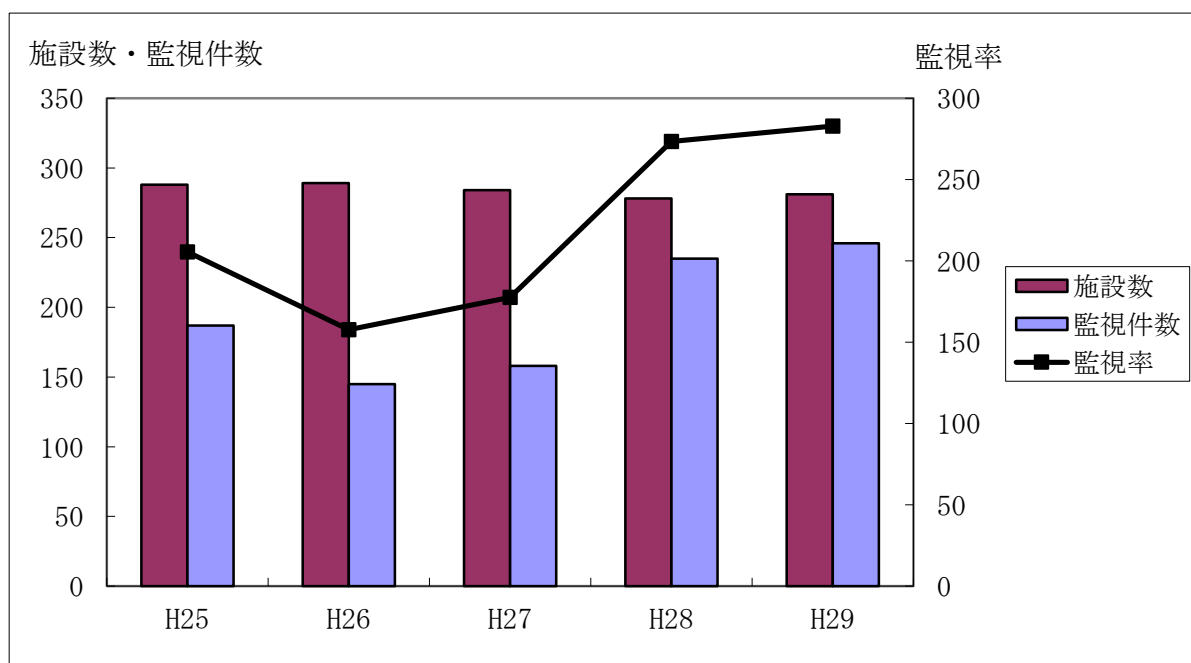


法 令

	H25	H26	H27	H28	H29
施設数	3175	3204	3225	3192	3133
監視件数	1320	1313	1473	1832	1880
監視率 (%)	116.6	119.4	132.345	164.2	169.5

※監視率については、立入検査目標回数に対する実施率を計上

(3) 食品営業施設数・監視件数・監視率等の推移 (条例)



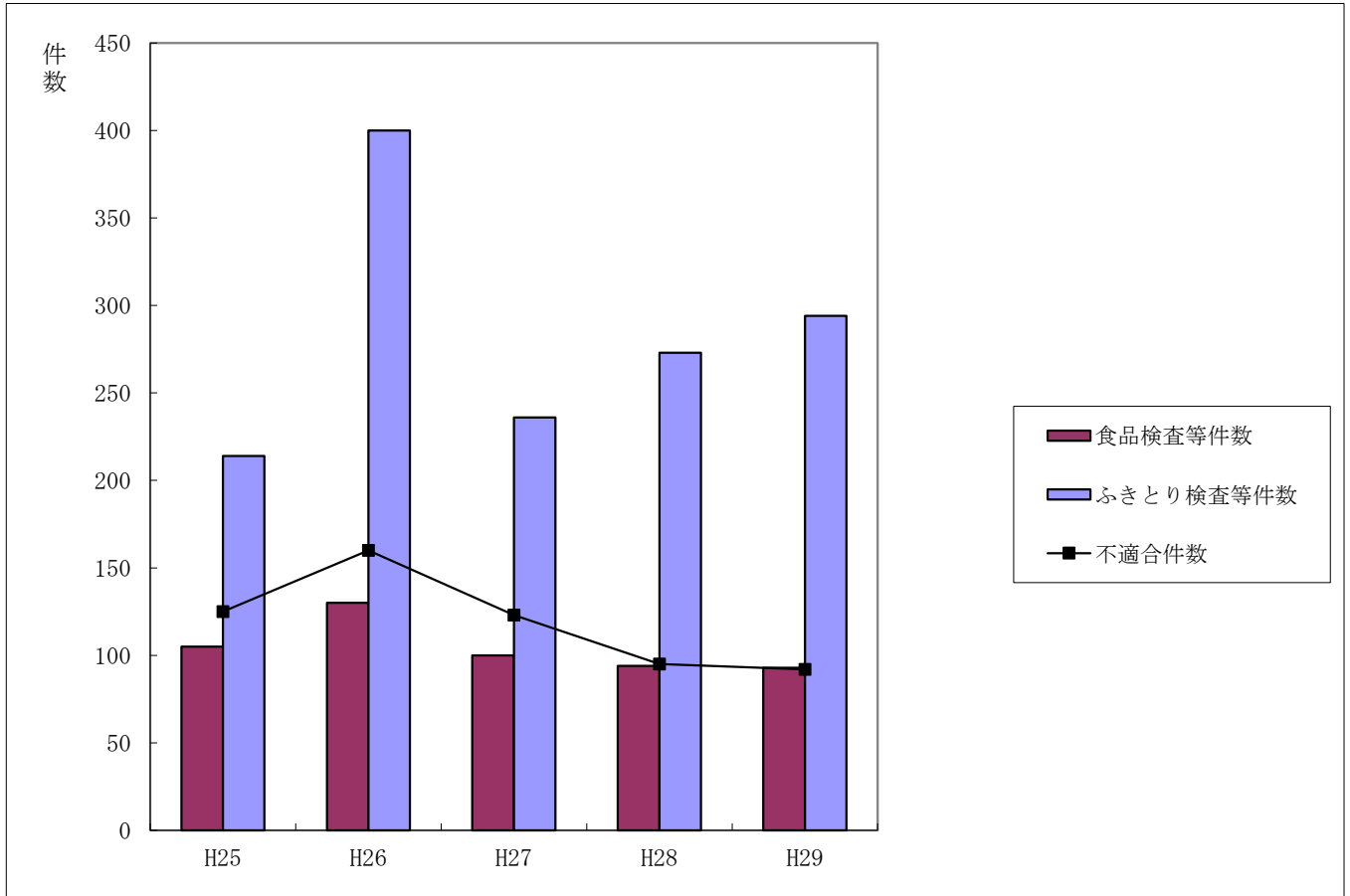
条 例

	H25	H26	H27	H28	H29
施設数	288	289	284	278	281
監視件数	187	145	158	235	246
監視率 (%)	205.5	157.6	177.5281	273.3	282.8

※監視率については、立入検査目標回数に対する実施率を計上

(4) 食品等の収去試験検査状況

過去5年間の検査状況は、年間300～600件の検査で、約30.7%の不適合率である（平成29年度の不適合率は23.8%）。
平成29年度の不適合の内容としては、主にATPのふきとり検査における器具類の洗浄不良である。



年 度	H25	H26	H27	H28	H29
食品検査等件数	105(3)	130(3)	100(0)	94(1)	93(0)
ふきとり検査等件数	214(122)	400(157)	236(123)	273(94)	294(92)
合 計	319(125)	530(160)	336(123)	367(95)	387(92)

※ () 内は不適合件数

(5) 平成29年度食品衛生条例許可状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

営業の種類	年度 当初 施設数	新規 更新 の別	申請		許可 件数	未許可 件数	不許可 件数	廃業 件数	現在数
			前年度 繰越	本年度 受付					
行商		新規							
		更新							
販売業	251	新規		73	73			72	252
		更新	2	22	24				
製造業等	27	新規		2	2				29
		更新		5	5				
計	278	新規		75	75			72	281
		更新	2	27	29				

(6) 平成29年度調理師免許証関係調

種	類	件	数
調理師免許申請		51	
調理師免許証書換交付申請		10	
調理師免許証再交付申請		15	

(7) 平成29年度製菓衛生師免許証関係調

種	類	件	数
製菓衛生師免許申請		7	
製菓衛生師免許証書換交付申請			
製菓衛生師免許証再交付申請		2	

3 生活衛生

表1 生活衛生関係営業施設の状況

(平成30年3月31日現在)

			施設数				監視 指導 件数	備 考
			年度 当初	開 設	廃 業	現 在 施設数		
許 可 関 係	旅 館	ホテル	12	1	1	12	13	
		旅館	26		1	25	31	
		簡易宿所	3			3	3	
		下宿						
		小計	41	1	2	40	47	
	興行場	2			2	2		
	公衆浴場	14			14	18		
	計	57	1	2	56	67		
届 出 関 係	理容所	224	3	3	224	1		
	美容所	420	17	6	431	2		
	クリーニング所	155	3	6	152	22		
	計	799	23	15	807	25		
特定建築物		30	1	1	30	6		
遊泳用プール		7			7	10		
建築物登録業		14	2	2	14			
合計		907	27	20	914	108		

表2 生活衛生関係免許 (該当なし)

(単位:件)

クリーニング師 免許取扱状況	登 録	書換え	再交付	返 納

表3 ねずみ・衛生害虫に係る相談件数

(単位:件)

種 類	アタマジラミ	マダニ	ハト	不明 (ハチ様)	不明(植物の ケ様)	計
相談件数	1	1	1	1	1	5

表4 管内水道施設数及び水道普及率

(平成30年3月31日現在)

	上水道	簡易水道		専用 水道	簡易 専用 水道	小簡易 専用 水道	小規模 水 道	計	水 道 普及率 (%)
		公営	組合						
古河市	1			9	143	80	12	245	97.7
五霞町	1			1	11	5	4	22	99.3
境 町	1			2	30	9	4	46	97.0
合 計	3			12	184	94	20	313	—

水道普及率は、平成29年3月31日現在 茨城県：94.4% 全国：97.9%

表5 管内水道施設届出等受理件数及び立入検査実施状況

(単位:件)

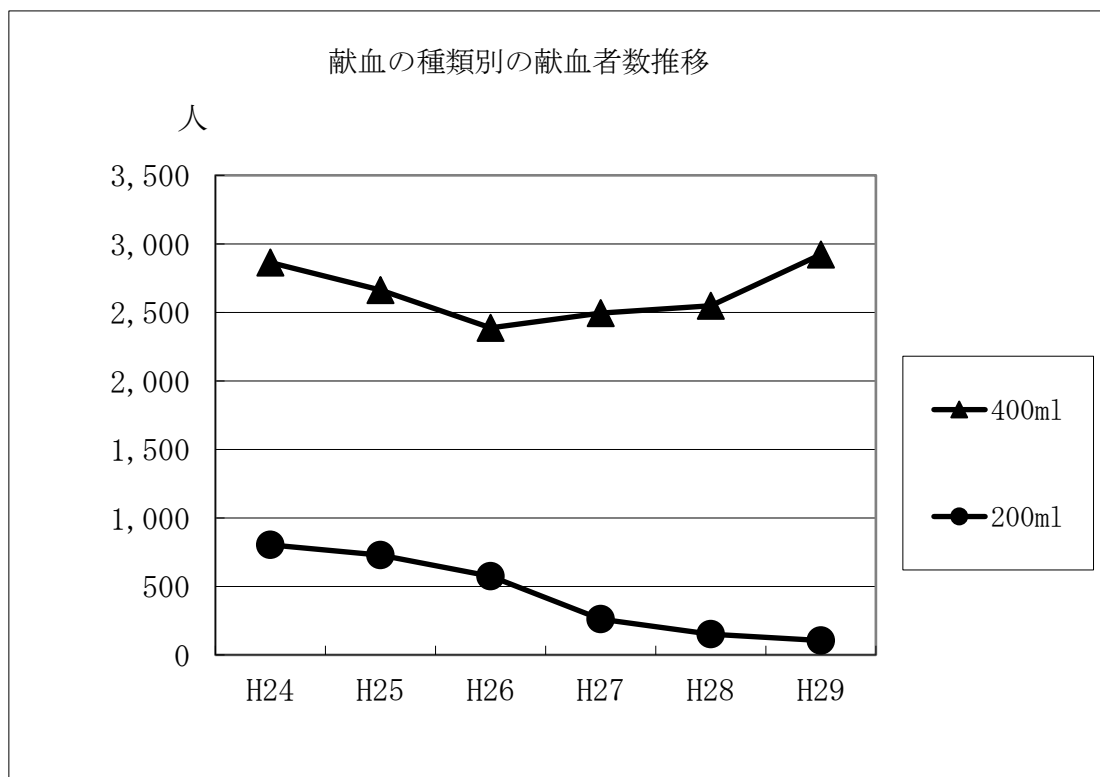
		受 理 件 数			現 在 設 置 数	立入検査 実施件数	指導票 交 付 施設数	行政水質検査 の実施件数 (不適合件数)
		設 置	廃 止	計				
水 道	法 令	上水道			3	2	1	
		簡易水道 (公営)						
		簡易水道 (非公営)						
		専用水道			12			
		簡易専用水道	2		2	184	4	4 (0)
	条 例	小簡易 専用水道	1		1	94	1	1 (0)
小規模水道					20			
計		3		3	313	7	1	5 (0)

4 血液事業

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律に基づいて、県、市町、日赤県支部等が一体となって献血事業を推進するとともに、善意の人々の協力により血液の確保に努めた。今年度は、昨年度に引き続き献血者数が減少した。

平成29年度 献血の状況

市町名	内訳 移動献血車の 稼働台数	献血種類別献血者数		
		200ml	400ml	計
古河市	59	87	2,216	2,303
五霞町	8	1	279	280
境町	11	17	427	444
計	78	105	2,922	3,027



【健康指導課】（平成29年度主要事業）

1 感染症対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症患者発生時に疫学調査を実施し、必要な感染予防対策を行い感染拡大防止に努めた。

また、社会福祉施設や保育所等の巡回指導及び研修会、さらにMERS（中東呼吸器症候群）を想定した患者搬送訓練を行い、感染症予防と発生時の対応など予防啓発に努めた。

さらに、感染症予防意識を高めるため、感染症発生動向調査事業や学校欠席者情報収集システムを活用し、早期に流行状況を把握し適切な対応の指導を実施するとともに、状況に応じて注意喚起のための啓発を行った。

2 結核予防事業

結核登録患者に対して面接調査、並びに患者家族・接触者に対して健康診断を実施するとともに、情報提供を行い結核の感染予防に努めた。

また、高齢者の結核発症が多い傾向にあることから、定期健康診断等による早期発見を促すとともに、新登録患者への服薬指導など発生届受理後の迅速な保健指導や家族への説明等対応した。特に、結核登録患者への家庭訪問等により服薬支援等の健康管理指導を行うとともに、管理検診の実施等治療の完遂に努めた。また、訪問・連絡DOTSだけではなく、医療機関の協力のもと外来DOTSも実施した。

結核患者の入院勧告、医療給付に際しては、感染症診査協議会結核部会を開催し入院可否及び医療内容について診査を行った。

予防対策として、結核対策及び結核に対する理解を深めてもらうために、高齢者福祉施設等職員を対象に研修会を開催し結核の啓発に努めた。

3 エイズ・性感染症予防対策事業

エイズ・性感染症に関する相談に対応し、不安の軽減・正しい知識の普及を図るとともに、HIV抗体検査やクラミジア抗体検査・梅毒血清検査を無料匿名で実施し、感染の早期発見・早期治療及び感染拡大防止に努めた。

また、エイズ患者に関する正しい知識の普及啓発を図るため学生や一般住民等に対し講話やパンフレットの配布を行い、エイズや性感染症に関する知識の普及・予防意識の高揚に努めた。

4 肝炎対策事業

肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療を図るため、肝炎ウイルス検査（HBV・HCV抗体検査）を無料匿名で実施し、肝炎の早期発見・早期治療に努めた。

また、治療にかかる治療費助成を申請した肝炎患者に対し、相談指導を含めて給付事業を実施した。

5 原子爆弾被爆者対策事業

被爆者健康手帳所持者に対し、年2回の定期健康診断と希望者へのがん検診を委託医療機関において実施し、要精密者に対して受診勧奨等の指導を実施した。

6 難病対策事業

指定難病（330 疾病）特定医療費認定事業による医療費助成を行うとともに、神経難病を中心とした患者について生活面を含めた状況把握を行い生活指導等に努めた。

在宅療養支援のため難病患者や家族等を対象に難病医療相談会及び講演会を開催し、難病に対する理解と不安の解消に努めた。介護者の休養等の理由による在宅重症難病患者一時入院事業を実施した。

7 精神保健福祉事業

精神科医による精神クリニックを実施し、早期医療の勧奨、本人・家族への生活指導及び保健指導等を実施した。

ひきこもり対策推進事業では、精神科医による専門相談と家族教室を実施した。

ひきこもり者の家族等からの相談事例について、当事者の社会参加のための支援方法等を検討、関係機関の連携を図るため検討会を開催した。

入院中の精神障害者の地域移行・地域定着支援を図るため、市町及び保健・医療・福祉の関係機関で構成する地域移行支援連絡協議会を開催した。

8 健康づくり推進事業

「第二次健康いばらき21プラン」に基づき、自らの健康について自ら保持増進に努められるよう次の事業を推進した。

(1) たばこ対策推進事業

喫煙は健康に与える影響が大きいことから、たばこに対する正しい知識の普及、受動喫煙防止対策についての正しい知識の普及を図った。

また、受動喫煙防止を推進するため、公共施設（特に行政機関）等における禁煙を認証する「茨城県禁煙認証制度」について、関係機関や他事業と連携して普及促進を図った。

(2) ヘルスロード推進事業

「身近なところで気軽に歩いて新たな発見と健康増進にチャレンジできる」というねらいのもと登録コースの整備推進を行った。

9 栄養改善事業

健康増進法等に基づき、県民及び給食施設の栄養改善を図るため次の事業を推進した。

(1) 栄養指導

適切な食生活の実践が図れるよう、各種研修会等の機会に個別及び集団による指

導を行った。

(2) 特定給食施設等指導

管内給食施設に対し、個別及び集団による指導を行うことで栄養管理・衛生管理・受動喫煙防止対策の充実を図った。

(3) 食生活改善地区組織の育成支援

市町及び管内の食生活改善推進員活動の支援・地区組織活動の推進の一環として、「食の現状と課題・健康日本 21」について、管内食生活改善推進協議会研修会を開催した。

(4) 管理栄養士・栄養士免許申請事務

栄養士法に基づき、管理栄養士及び栄養士の免許申請事務を行った。

(5) 栄養表示指導

食品表示法に基づき、食品製造及び加工業者等に対し相談・指導を行った。

10 食育の推進

(1) 食育支援ネットワーク事業

「第三次茨城県食育推進計画」推進の一環として、市町における食育推進計画策定に関する支援として担当者会議における情報提供を行った。

食育に関する情報発信として、野菜摂取量の増加や減塩・適塩の推進等を図るため、各種行事等での資料配付やホームページへの記事掲載を行った。

(2) いばらき健康づくり支援店推進事業

県民が健康づくりの面から安心して外食・中食を利用できるよう、健康づくりの取組を行う飲食店等の登録を行った。新規登録促進のため個別店舗訪問による登録勧奨の強化や、各種団体研修会等における周知を行い、2施設の登録が得られた。

11 健康増進事業の推進

(1) 健康増進事業費の補助

健康増進法に基づき、市町が行う健康増進事業に対する一部補助等に関して指導を行い、効果的な保健事業の推進に努めた。

(2) 地域・職域連携推進事業

古河・坂東保健医療圏地域・職域連携推進協議会において、「中小企業への健診受診勧奨」や「受動喫煙防止対策」をテーマに協議を行い、効果的な取組の推進を図った。

12 歯科保健対策事業

茨城県歯と口腔の健康づくり 8020・6424 推進条例に基づき、歯科衛生の思想普及、歯科保健推進を目的として次の事業を実施した。

(1) 8020・6424 推進事業

ア 市町村歯科支援研修事業

市町担当者を対象に市町村歯科保健担当者会議開催し、歯科保健に関する情報提供や情報交換を行い、歯科保健の推進等の意識を高め、生涯を通じた県民の歯と口腔の健康の保持に努めた。

イ 出張障害者口腔ケア事業

管内障害者施設を訪問し、口腔状態に応じた適切な口腔ケアに関する講義及び実技指導を実施して歯科検診、歯科保健指導などを受けられる環境づくりに努めた。

13 総合がん対策推進事業

がん予防・検診講習会

古河市PTA女性ネットワーク会員を対象に、乳がんに関する知識の普及と検診の受診につながるよう講習会を開催した。

14 母子保健事業

子どもの健やかな成長を支えるため、子育て支援に関わる地域の各機関職員等に対し、気になる行動をとる子どもへの支援方法や児童虐待予防、周産期のメンタルヘルスと支援方法等を学ぶ場として研修会を実施した。また、「要支援妊産婦支援体制整備事業」に取り組み、要支援妊産婦の早期把握と保健指導等の支援体制の強化を図るため、管内母子保健担当者会議、連絡会議を開催した。

小児慢性特定疾病事業対象者へ医療給付を行うとともに、専門医による「ダウン症の療育について」の講演会及びピア相談会を開催し、長期療養児及びその保護者の将来への不安の軽減を図ることに努めた。

また、不妊治療を受けた方への治療費助成による経済的負担の軽減を図った。さらに助成の範囲を男性にも拡大し助成を行った。

15 石綿による健康被害等相談

石綿による健康被害者及びその家族への健康相談等を実施し、「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づく石綿健康被害給付業務の認定申請及び救済給付請求の受付業務を行った。

1 感染症対策事業

(1) 感染症情報の収集

ア 感染症の全数把握

一～四類感染症については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下「感染症法」という。)に基づき、直ちに氏名・年齢・性別等の届出を受理し、疫学調査や接触者調査を行い、感染のまん延防止に努めた。また、五類感染症については、7日以内の届出となっている。平成29年度は、三類・四類・五類(全数把握)感染症の報告があった。

平成29年度 感染症発生状況(平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位:件)

感染症類型	感 染 症 名	届出件数	疫学調査	備 考
三類感染症	腸管出血性大腸菌	6	6	
四類感染症	レジオネラ症	5	5	
	A型肝炎	3	1	2名は外来患者。 常総保健所対応。
	マラリア	1	1	
五類感染症	アメーバ赤痢	1	1	
	後天性免疫不全症候群	1	1	
	梅毒	4	4	
	風しん	1	1	

感染症発生状況の推移(平成25年度～平成28年度)

(単位:件)

感染症類型	感 染 症 名	H28	H27	H26	H25
一類感染症					
二類感染症 (結核は除く)					
三類感染症	腸管出血性大腸菌	2(1)	4(3)		
四類感染症	レジオネラ症	6(2)	7(2)	5(2)	6(1)
	つつがむし病				1
	デング熱		1		
五類感染症	アメーバ赤痢		2		3
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1			
	急性脳炎	1			1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			
	後天性免疫不全症候群(AIDS)		5	2	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		1	
	梅毒	5	1	2	3
	破傷風			1	
	風しん				2(1)
水痘(入院例)			1		

()内は管外保健所の発生届の情報

感染症発生届の状況を平成25年度からの変化をみると、四類感染症のレジオネラ症は毎年発生がみられる。また、麻しんについては、感染拡大予防策に加え平成22年度から検査診断が行える体制を設け、検査結果を踏まえて診断ができるようになり、当管内では過去5年間発生がなかった。検査診断については、医療機関の協力のもと患者の同意を得て検査を実施しており、地域の関係機関との連携・協力が必須である。

イ 感染症の集団発生状況については、次のとおりである。

感染症名	区 分	場 所	件 数
インフルエンザ	集団発生報告	認定こども園	2
		保育園（所）	6
		医療機関	1
		通所介護施設	2
		介護老人福祉施設	2
		社会福祉施設	2
	学年閉鎖	小学校	19
		中学校	2
		特別支援支援学校	0
	学級閉鎖	幼稚園	1
		小学校	91
		中学校	17
		高等学校	3

* 茨城県感染症情報センターインフルエンザ流行情報（インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等措置・集団発生等の状況について）で報告した施設数

* インフルエンザにより最初に学級閉鎖した学校で病原体検査を実施（うがい液・鼻かみ液查で陽性確認）

* 学校（一部除く）の感染症の集団発生については、「学校欠席者情報収集システム」により欠席状況を把握している。

○感染性胃腸炎

保育園 1件 小学校 1件 特別支援学校 1件 高齢者施設 1件

※早期の相談や10名以上での報告を受け、早い段階で対策の徹底を図り感染拡大の防止に努めた。

ウ 感染症病原体等検査実施要領に基づく病原体検査実施状況

○感染症発生動向調査事業に基づく病原体検査の実施

- ・基幹定点医療機関： 20 検体
- ・インフルエンザ定点医療機関： 13 検体
- ・小児科定点医療機関： 2 検体

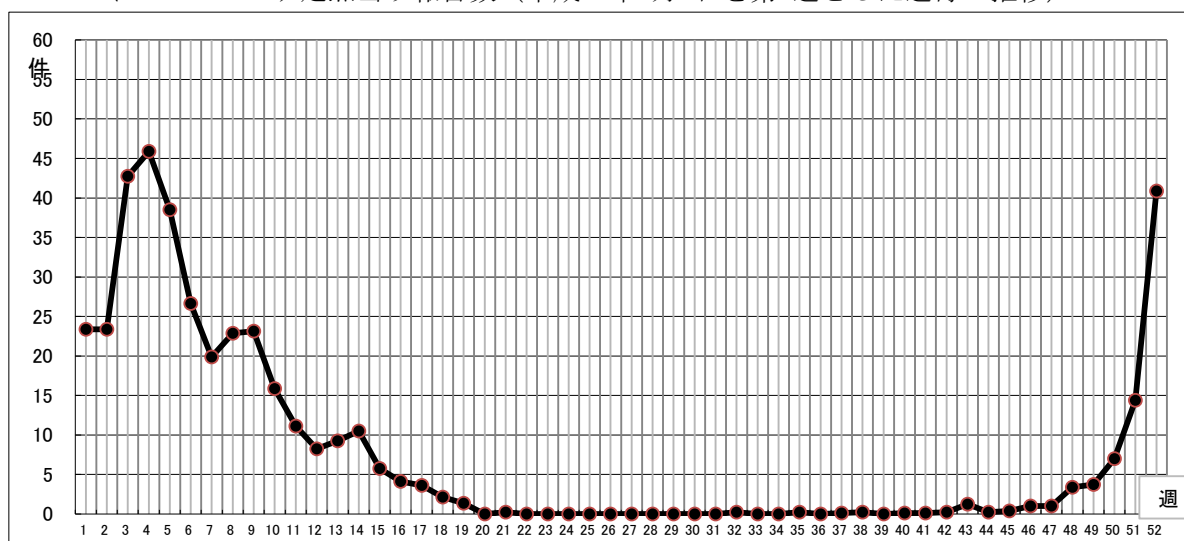
○疫学的検査

- ・麻しん疑い 1 検体
- ・蚊媒介感染症疑い 1 検体
- ・腸管出血性大腸菌 11 検体
- ・感染性胃腸炎 13 検体
- ・重症熱性血小板減少症候群 1 検体
- ・RSウイルス 1 検体

エ 管内定点医療機関における感染症発生状況

感染症に基づき、指定届出機関（定点）から報告される、規定された疾患の発生状況を調査・集計している。その情報をもとに、管内で流行している感染症を把握し、感染症研修会や社会福祉施設巡回指導の際、関係機関へ情報提供を行った。

インフルエンザ定点当り報告数（平成29年1月1日を第1週とした週毎の推移）



管内定点医療機関一覧

定点医療機関名	定点の区分						
	小児科	内科	眼科	STD	基幹	疑似症	
						1号	2号
酒井医院	○					○	○
茨城西南医療センター病院	○	○			○	○	○
友愛記念病院	○	○				○	○
総和中央病院	○					○	○
遠藤医院	○					○	○
船橋レディースクリニック				○			
川島眼科院			○				
古河赤十字病院		○				○	○
芝田クリニック						○	○
村田医院						○	
斉藤皮膚科医院							○
古河福祉の森診療所						○	○
前沢内科医院						○	○

感染症診査協議会の委員構成

所属等	氏名	備考
古河市古河福祉の森診療所	赤荻栄一	委員長（兼）結核部会
古河赤十字病院	篠田宗次	
茨城西南医療センター病院	野村明広	
茨城西南医療センター病院	松村壮	（兼）結核部会
前沢内科医院	前澤宏忠	（兼）結核部会
佐谷法律事務所	佐谷道浩	（兼）結核部会
学識経験者	鈴木悦子	（兼）結核部会

オ 動物由来感染症届出件数
0件

(2) 感染症予防対策

感染症予防対策の一環として、集団で生活する施設等での感染症の発生及びまん延防止のために施設を巡回し適宜指導を行った。特にノロウイルスによる感染性胃腸炎やインフルエンザ予防について、手洗いの指導や直接介助する者の予防対策管理などを指導した。

ア 社会福祉施設等巡回指導 (平成29年6月～10月)
10施設

感染症予防の啓発事業として、ノロウイルスによる感染性胃腸炎やインフルエンザについて、最新の情報提供や、予防策としての手洗いの指導を中心に研修会を行った。

ウ 感染症対策研修会

開催日及び場所	対象者	内容	参加人数
平成29年11月13日(月) 古河保健所	社会福祉施設職員等	講演 「ノロウイルスの予防と対策」	23名
平成30年3月9日(金) 古河保健所	高齢者施設職員	講話 「高齢者福祉施設における結核対策」	22名

新興感染症が発生したことを想定し、感染症医療機関の協力を得て、対応訓練を行った。

エ 感染症発生を想定した対応訓練
平成29年11月15日(水) 協力医療機関：茨城西南医療センター病院

2 結核予防事業

(1) 結核医療

新規登録者数は平成22年以降毎年増加傾向であり、平成27年には減少したが、平成28年には平成28年には再び上昇に転じた。平成29年は前年より減少したが依然として高い値を継続している。

結核罹患率を見ると、平成21年は12.8（人口10万対）であったが、平成22年から上昇に転じ、平成24年には26.6（人口10万対）と著しく上昇した。その後も高い状況が続いたが、平成27年には16.1（人口10万対）と前年から10.2減少した。平成28年は20.7（人口10万対）と再び上昇に転じたが、平成29年は17.3（人口10万対）と減少した。

結核の新規登録者数が減少しない理由として、高齢の結核患者の増加と共に、30～50代の働き盛りの年代にも結核患者発生が増えていることがあげられる。また、外国出身者の結核登録者数は年々増加傾向にあり、当管内においても平成28年の外出身者結核患者は0%（人(%)）であったが、平成29年には10.97%（人(%)）に急増したこともあげられる。

表1-1 新登録患者数（年次推移）

（単位：人）

年次	分類	総数 A = a + b	活動性結核						肺外結核 活動性	潜在性結核 感染症 治療中
			a = I + II + III	肺結核活動性			登録時 その他の結核	登録時 菌陰性・		
				登録時喀痰						
				I = ① + ②	初回治療 ①	再治療 ②				
H29	総数	30	28	17	14	3	7	4	2	13
	男	19	17	10	9	1	6	1	2	4
	女	11	11	7	5	2	1	3	0	9
H28	総数	36	31	12	7	5	4	15	5	17
	男	25	24	8	6	2	2	14	1	13
	女	11	7	4	1	3	2	1	4	4
H27	総数	28	23	10	10		11	2	5	12
	男	17	17	8	8		7	2		6
	女	11	6	2	2		4		5	6
H26	総数	46	36	17	14	3	12	7	10	15
	男	21	20	12	9	3	6	2	1	7
	女	25	16	5	5		6	5	9	8
H25	総数	47	39	16	16		16	7	8	7
	男	29	27	13	13		9	5	2	5
	女	18	12	3	3		7	2	6	2

図1-1 結核新登録患者年次推移

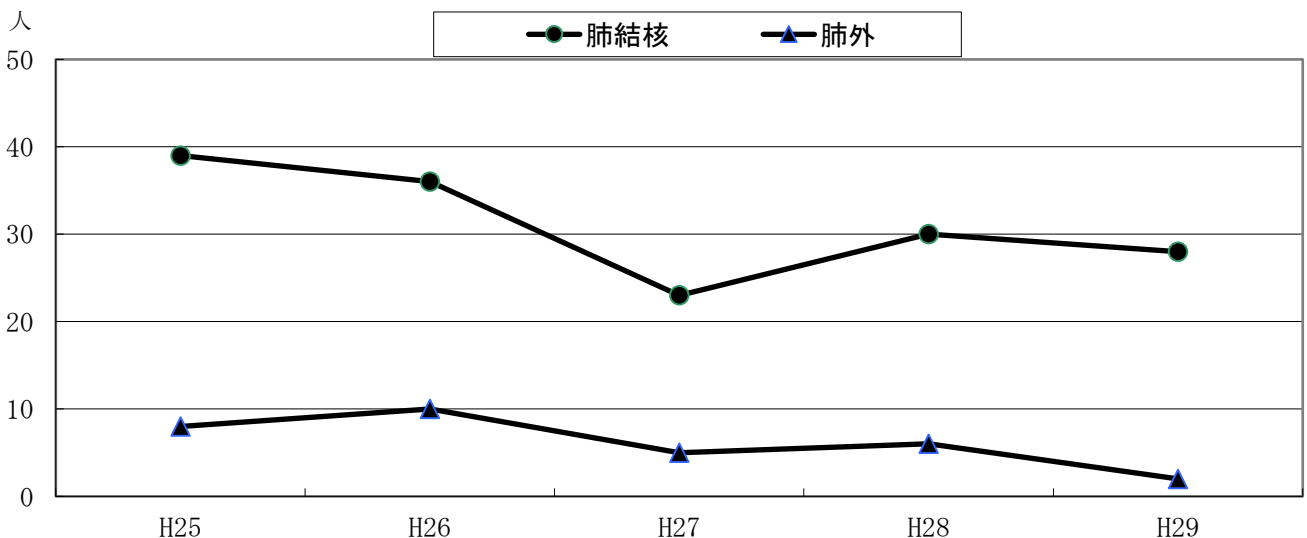


図 1 - 2 結核新登録患者の年齢別年次推移

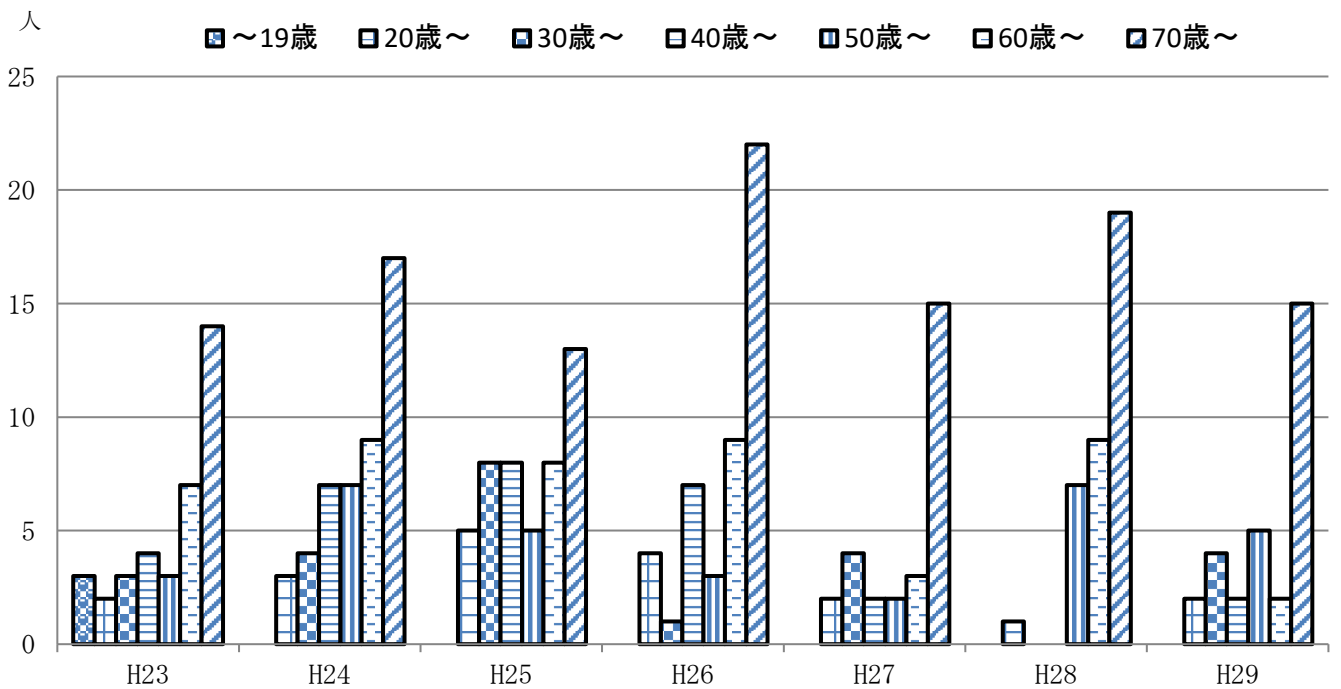


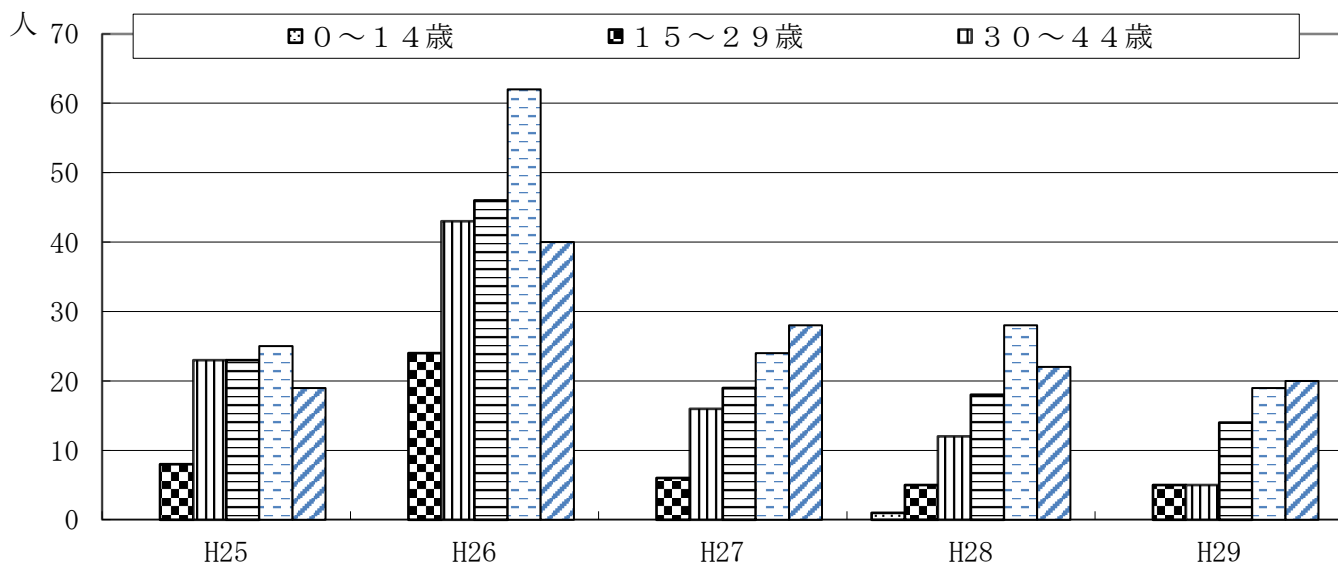
表 1 - 2 結核の新規登録者のうち65歳以上の割合 (単位:%)

年次	H25	H26	H27	H28	H29
全国	64.5	65.4	66.6	66.6	-
茨城県	58.9	61.5	63.2	64.7	-
管内	44.6	67.4	64.3	66.7	50.0

表 1 - 3 新登録患者数 (性別・年齢階級別・市町村別) (単位:人)

区分	総数		~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~
	男	女								
H29	管内	30	19	11						
	古河市	20	14	6						
	五霞町	3	2	1						
	境町	7	3	4						
H28	管内	36	25	11						
	古河市	31	22	9						
	五霞町	2	1	1						
	境町	3	2	1						
H27	管内	28	17	11						
	古河市	23	15	8						
	五霞町	0								
	境町	5	2	3						
H26	管内	46	21	25						
	古河市	41	16	25						
	五霞町	3	3							
	境町	2	2							
H25	管内	47	29	18						
	古河市	38	24	14						
	五霞町	3	3							
	境町	6	2	4						

図2-1 年齢別結核患者登録者の年次推移（各年12月31日現在登録者数）



(1) 感染症診査協議会結核部会の開催状況

結核患者の入院勧告や結核一般患者の公費負担申請等を審議する感染症診査協議会結核部会を4週間に1回開催した。

- 開催回数：定例診査 12回（毎月第二火曜日に実施）
- 臨時診査 13回（緊急にてFAX諮問）

○診査状況

区 分	申請数	承認数	不承認数	保留
法第20条(入院延長)	定例	33	33	
	臨時	13	13	
法第37条(入院費用)	17	17		
法第37条の2(通院費用)	63	62		1
合計	126	125		1

ア 集団感染対策委員会の開催

なし

イ 結核患者の管理状況

治療終了後の2年間を経過観察の必要な管理期間とし、胸部レントゲン検査、管理検診及び定期病状報告にて患者の病状把握に努めた。また、接触者については、QFT（クオンティフェロン）血液検査を実施し、結果が陽性の場合、潜在性結核感染症として治療を始めている。判定保留の場合は、胸部レントゲン検査にて経過観察を行った。

(2) 結核対策特別促進事業

地域DOTS事業の実施

地域DOTS（Directly Observed Treatment Short course）事業とは、地域における結核のまん延防止を目的として、結核患者の確実な服薬を促し治療の完遂を図るよう服薬支援することである。

①地域DOTS実施状況

在宅療養者へ電話、訪問により服薬確認を実施した。また、同居家族の協力を得ての服薬確認も行った。

年 度	対象者	外来DOTS	訪問DOTS	訪問DOTS	連絡DOTS
H26	57	8	3	3	46
H27	73	19	2	2	52
H28	54	12	6	6	36
H29	51	14	10	10	27

※対象者：全ての結核登録患者

②地域DOTS会議

結核病床を有する医療機関において服薬支援に係る具体的な方針等を決定する会議を毎月若しくは隔月、定例で行った。

○出席回数 筑波学園病院 2回

③コホート検討会

- ・対象者全員の治療成績のコホート分析を行うため、検討会を開催した。
- ・規登録者の特徴及び今後の地域DOTS実施方法について検討し、結核患者への対応について見直しを行った。

日 時 平成30年 3月 13日(火) 14時30分から

場 所 古河保健所

参加者 結核部会委員 5名, 保健所職員 2名

内 容 ・平成29年管内結核発生状況について

課 題 ・国, 県, 他保健所と比較して罹患率が高い

・喀痰塗抹陽性患者罹患率が高い

・近年, 高齢者の発症が多い

対 策 ・感染拡大を防ぐため, 患者の感染経路を把握し, 接触者健診等を実施することが必要である。

(3) 普及啓発

医療機関・保健福祉施設結核研修事業の実施

期日及び場所	内 容	参加者
平成30年3月9日(金) 古河保健所	講話 高齢者福祉施設における結核対策 講師 古河保健所 技師 松本 愛美	医師・看護師・介護職・生活相談員・その他(管理職) 計 22名

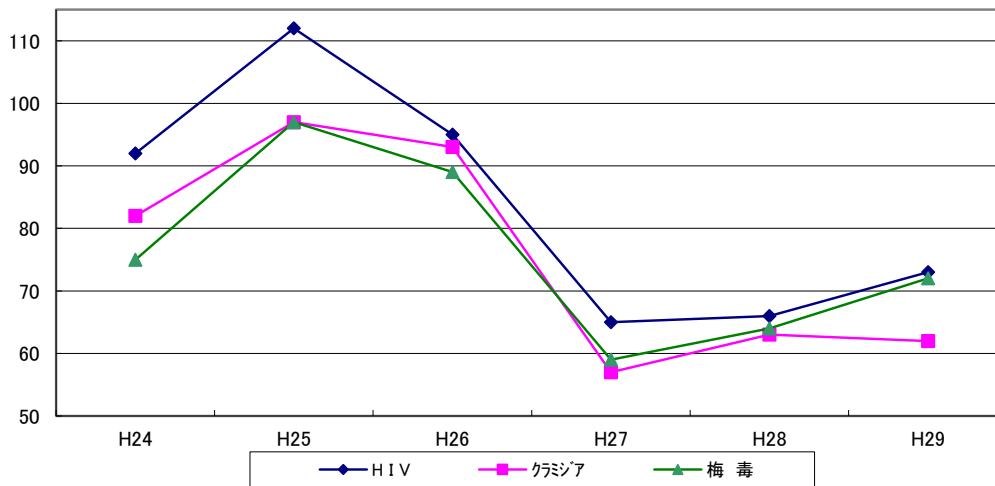
3 エイズ・性感染症予防対策事業

(1) エイズ相談及びHIV抗体検査実施状況

(肝炎検査と合わせて毎週火曜日 午前9時～午前11時)

区分		年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
		HIV抗体検査	男	53	71	61	36	39
女	39		41	34	27	27	27	
計	92		112	95	63	66	73	
相談	来所	男	3	24	24	5	2	4
		女	5	27	22	4	3	2
		計	8	51	46	9	5	6
	電話	男	35	46	25	20	14	9
		女	15	18	9	21	4	4
		計	50	64	34	41	18	13

図1 HIV抗体検査・性感染症検査（クラミジア・梅毒検査）受検者数（年次推移）

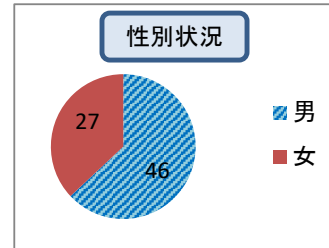
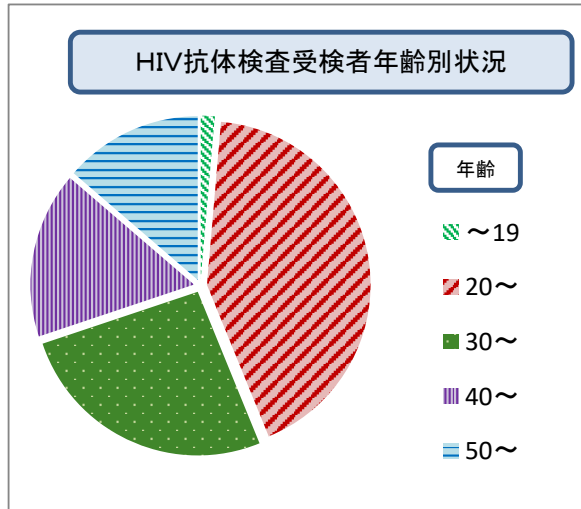


(2) HIV抗体・クラミジア抗体・梅毒血清検査の状況

年度	検査	HIV抗体検査	クラミジア抗体検査	梅毒検査
H27	検査件数	63	57	59
	陽性者数	1	29	1
H28	検査件数	66	63	64
	陽性者数		17	1
H29	検査件数	73	62	72
	陽性者数	1	7	

(3) 平成29年度 HIV抗体検査の性別・年齢別等状況

検査		性別		年齢					国籍	
回数	採血件数	男	女	～19	20～	30～	40～	50～	日本	その他
34	73	46	27	1	31	19	12	10	72	1



(4) エイズ・性感染症の予防啓発事業

エイズに関する啓発事業を実施し、エイズについての正しい知識の普及啓発及び予防意識の高揚を図った。

実施日	会場	内容	対象	参加者数
平成29年6月1日(木) ～6月7日(水)	保健所内	保健所性感染症検査(HIV検査普及週間)の案内及びエイズ予防啓発ポスター及びリーフレット配布。	一般住民	
平成29年11月29日(木) ～12月28日(木)	保健所内	啓発コーナーの設置(ポスター)掲示・パンフレット・啓発グッズの配布。HPでの世界エイズデー案内及び検査の案内。	一般住民	
平成29年12月5日(火)	古河市とねみどり館	感染症に関する講演において、講話の中で、HIV等性感染症について説明した。HIV予防啓発チラシの配布。	理美容従事者	71名
平成29年12月14日(木)	茨城県立境高等学校	保健所性感染症検査の案内、リーフレットの配布、ポスター掲示。	高校生教職員	240名
随時	イベント会場	保健所性感染症検査の案内とチラシ・リーフレットを配布。	一般住民	

4 肝炎対策事業

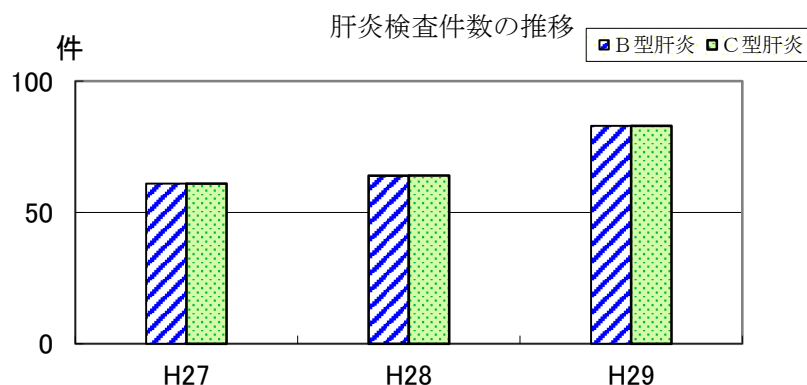
(1) 肝炎検査

B型・C型肝炎ウイルスは、感染時期が明確でないことや肝炎の自覚症状がないことが多いため、適切な時期に治療を受けられず、本人が気づかぬうちに肝硬変や肝がんへ移行する可能性がある。このため、持続感染者(キャリア)の早期発見と慢性肝炎患者への治療費助成を行い、肝硬変・肝がん予防に努めた。

肝炎の総合対策として、肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療を図るため、B型・C型肝炎に対する正しい知識の普及を図り、輸血等による感染の不安をもつ住民の相談や保健指導に努めた。また、希望者に肝炎ウイルス検査(HBV・HCV抗体検査)を無料で実施し、肝炎の早期発見・早期治療に努めた。

表1 肝炎検査・相談の年次推移

年度	B 型 肝 炎				C 型 肝 炎			
	検査	来所相談	電話相談	計	検査	来所相談	電話相談	計
H27	61	12	12	85	61	10	12	83
H28	64	9	12	85	64	8	11	83
H29	83	4	1	88	83	5	1	89



(2) 肝炎治療費助成事業

肝炎治療にかかる医療費助成を、次の3つの要件のすべてに該当している方に行った。

(ア) C型ウイルス肝炎の根治を目的として行われるインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療を行う方で認定基準を満たす方。

(イ) 茨城県に住民登録している方。

(ウ) 国民健康保険等各種医療保険に加入している方。

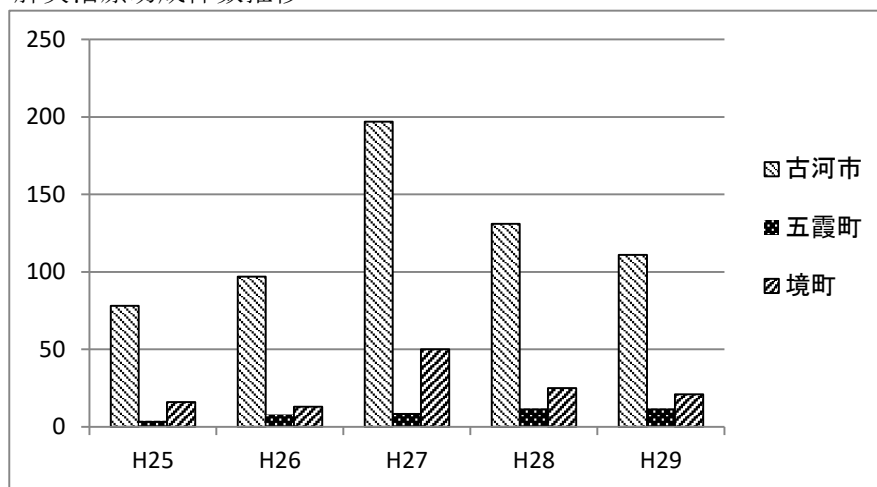
表2 肝炎治療費助成件数

年 度	管 内	古河市	五霞町	境 町
H25	98	78	4	16
H26	112	92	13	7
H27	256	197	9	50
H28	168	131	12	25
H29	144	111	12	21

平成29年度助成内容別内訳

助成内容	管内	古河市	五霞町	境町
C型肝炎（インターフェロン等）の治療助成	52	38	3	11
C型肝炎による代償性肝硬変（インターフェロン等）の治療助成	19	14	2	3
B型肝炎（アナログ製剤）の治療助成	72	58	7	7
B型肝炎による代償性・非代償性肝硬変（アナログ製剤）の治療助成	1	1	0	0
計	144	111	12	21

肝炎治療助成件数推移



平成29年度肝炎治療助成新規申請状況

区分	申請数	助成件数	自己負担分		市町別		
			1万円	2万円	古河市	五霞町	境町
C型肝炎（インターフェロン等）	0	0	0	0	0	0	0
C型肝炎（インターフェロンフリー治療）	71	71	59	12	52	5	14
B型肝炎（アナログ製剤）	74	73	61	12	59	7	7

5 原子爆弾被爆者対策事業

(1) 被爆者健康手帳等交付状況 (平成30年3月31日現在)

被爆者健康手帳 : 13人 (古河市:12人, 境町:1人)

健康診断受診者証 : 1人 (古河市)

(2) 各種手当等受給状況 (平成30年3月31日現在)

健康管理手当 : 12人 (古河市:11人, 境町:1人)

保健手当 : 1人 (古河市)

(3) 原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況 (単位:人, %)

実施時期	対象者	受診者	受診率	要精密者
第1回(6月)	16	4	25	2
第2回(11月~1月)	15	5	33.3	2

(4) 原子爆弾被爆者希望健康診断(がん検診)実施状況 (単位:人)

区分	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性 骨髄腫
受診者	3	3	1	1	3	3
要精密者	1	0	0	0	0	0

6 難病対策事業

原因が不明で治療法も確立していない、いわゆる難病は、療養も長期にわたり、患者・家族の経済的・社会的・精神的負担等は大変大きなものがあり、各種の支援により安心できる療養環境づくりを図っていくことが重要である。

指定難病特定医療費については、これまでの一般特定疾患治療研究事業（56疾病）から、平成27年1月1日に「難病患者に対する医療等に関する法律」が施行され、指定難病特定医療費（101疾病）となり、平成27年7月1日には対象疾病が306疾病が対象となっている。H29年4月からは330疾病に拡大された。これらの患者に医療費助成を行うとともに、神経難病患者等支援が必要な方の生活状況を含めた状況を把握し、生活指導等を行った。

指定難病の医療費助成の申請状況については、平成29年度末で1,024件の医療給付となった。また、経過措置期間の終了に伴い、更新申請が12月末までと9月末までとなっているため、6月から12月末までの更新申請の時期には、療養相談にも対応した。

古河保健所管内の医療費助成の多い疾患は、潰瘍性大腸炎・パーキンソン病関連疾患・全身性エリテマトーデスであった。

難病患者に対する在宅療養支援の一環として、家庭訪問を実施するとともに、難病患者や家族等を対象に難病医療相談会及び講演会を開催し、難病に対する理解と不安の解消に努めた。

また、地域支援の必要な患者に関するケース会議に参加し、円滑な療養生活が送れるよう支援を実施した。

(1) 難病医療給付状況

表1 一般特定疾患・指定難病特定医療費給付状況の推移

年 度	H27	H28	H29
医療費助成受給者数	1,044	1,075	1,024
(うち重症)	16	29	

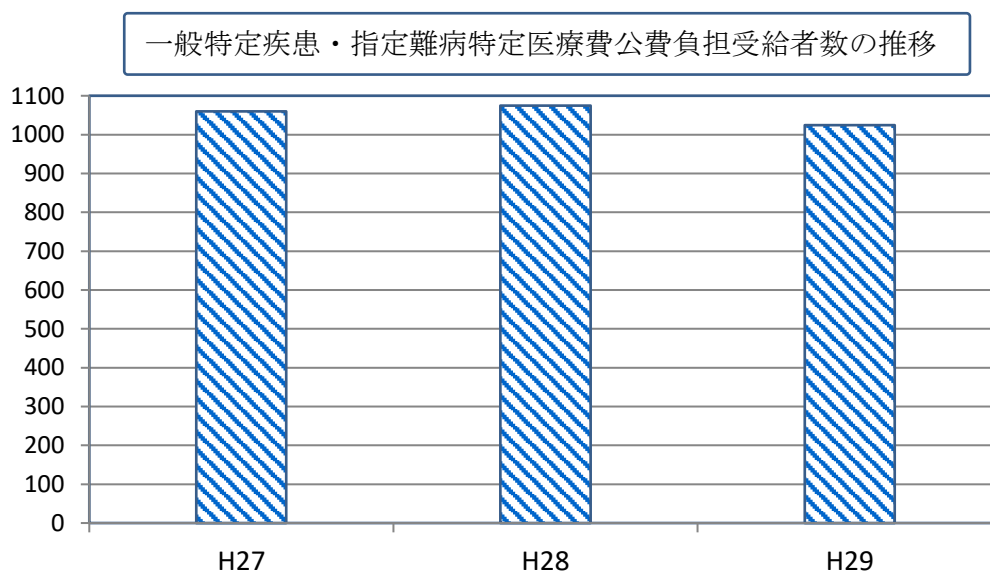


表 2-1 指定難病特定医療費給付状況(疾患名・市町別)

(平成30年3月31日現在)

NO	疾患名	古河市	五霞町	境町	管内	NO	疾患名	古河市	五霞町	境町	管内
1	球脊髄性筋萎縮症	2			2	56	パーチェット病	17	1	2	20
2	筋萎縮性側索硬化症	11		2	13	57	特発性拡張型心筋症	21	1	4	26
3	脊髄性筋萎縮症				0	58	肥大型心筋症	2		1	3
4	原発性側索硬化症				0	59	拘束型心筋症				0
5	進行性核上性麻痺	9		1	10	60	再生不良性貧血	7		1	8
6	パーキンソン病	128	7	19	154	61	自己免疫性溶血性貧血	1			1
7	大脳皮質基底核変性症	4	1	1	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1			1
8	ハンチントン病				0	63	特発性血小板減少性紫斑病	7	1	3	11
9	神経有棘赤血球症	1			1	64	血栓性血小板減少性紫斑病				0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1			1	65	原発性免疫不全症候群	2			2
11	重症筋無力症	20	1	1	22	66	I g A腎症	8		1	9
12	先天性筋無力症候群				0	67	多発性嚢胞腎	7		1	8
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	22	2	1	25	68	黄色靭帯骨化症	4	1	3	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 /多巣性運動ニューロパチー	2	2	1	5	69	後縦靭帯骨化症	37	2	4	43
15	封入体筋炎			1	1	70	広範脊柱管狭窄症	6			6
16	クロウ・深瀬症候群				0	71	特発性大腿骨頭壊死症	16		2	18
17	多系統萎縮症	14	2		16	72	下垂体性ADH分泌異常症			1	1
18	脊髄小脳変性症 (多系統萎縮症を除く)	21	2	5	28	73	下垂体性TSH分泌亢進症				0
19	ライソゾーム病	1			1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	1			1
20	副腎白質ジストロフィー				0	75	下垂体性ACTH分泌亢進症	1			1
21	ミトコンドリア病	2			2	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症				0
22	もやもや病	8	3	3	14	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5		1	6
23	プリオン病				0	78	下垂体前葉機能低下症	10		3	13
24	亜急性硬化性全脳炎				0	79	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)				0
25	進行性多巣性白質脳症				0	80	甲状腺ホルモン不応症				0
26	HTLV-1関連脊髄症				0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症				0
27	特発性基底核石灰化症				0	82	先天性副腎低形成症				0
28	全身性アミロイドーシス	1			1	83	アジソン病				0
29	ウルリッヒ病				0	84	サルコイドーシス	7		2	9
30	遠位型ミオパチー	2			2	85	特発性間質性肺炎	19	1	1	21
31	ベスレムミオパチー				0	86	肺動脈性肺高血圧症	1			1
32	自己食空胞性ミオパチー				0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症				0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群				0	88	慢性血栓性肺高血圧症	3	2	1	6
34	神経線維腫症	3		2	5	89	リンパ脈管筋腫症			1	1
35	天疱瘡	2	1	2	5	90	網膜色素変性症	16		2	18
36	表皮水疱症				0	91	バット・キアリ症候群				0
37	膿疱性乾癬	1			1	92	特発性門脈圧亢進症				0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群				0	93	原発性胆汁性肝硬変	12	1	2	15
39	中毒性表皮壊死症				0	94	原発性硬化性胆管炎				0
40	高安動脈炎	4			4	95	自己免疫性肝炎	2			2
41	巨細胞性動脈炎	2			2	96	クローン病	37	1	6	44
42	結節性多発動脈炎	1			1	97	潰瘍性大腸炎	141	15	20	176
43	顕微鏡的多発血管炎	5	1	3	9	98	好酸球性消化管疾患	1			1
44	多発血管炎性肉芽腫症	4		1	5	99	慢性特発性偽性腸閉塞症				0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1			1	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症				0
46	悪性関節リウマチ	3		1	4	101	腸管神経節細胞減少症				0
47	バージャー病	1			1	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群				0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群				0	103	CFC症候群				0
49	全身性エリテマトーデス	76	5	10	91	104	コストロ症候群				0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	18	2	4	24	105	チャージ症候群				0
51	全身性強皮症	16	2	3	21	106	クリオピリン関連周期熱症候群				0
52	混合性結合組織病	10		1	11	107	全身型若年性特発性関節炎	2			2
53	シェーグレン症候群	9	1	2	12	108	TNF受容体関連周期性症候群				0
54	成人スチル病	1		1	2	109	非典型性溶血性尿毒症症候群				0
55	再発性多発軟骨炎		1		1	110	ブラウ症候群				0

表2-1 指定難病特定医療費給付状況(疾患名・市町別)

NO	疾患名	古河市	五霞町	境町	管内	NO	疾患名	古河市	五霞町	境町	管内
111	先天性ミオパチー	2			2	166	弾性線維性仮性黄色腫				0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群				0	167	マルファン症候群			1	1
113	筋ジストロフィー	5	1		6	168	エーラス・ダンロス症候群	1		1	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群				0	169	メンケス病				0
115	遺伝性周期性四肢麻痺				0	170	オクシピタル・ホーン症候群				0
116	アトピー性脊髄炎				0	171	ウィルソン病	1			1
117	脊髄空洞症				0	172	低ホスファターゼ症				0
118	脊髄髄膜瘤				0	173	VATER症候群				0
119	アイザックス症候群				0	174	那須・ハコラ病				0
120	遺伝性ジストニア				0	175	ウィーバー症候群				0
121	神経フェリチン症				0	176	コフィン・ローリー 症候群				0
122	脳表ヘモジデリン沈着症				0	177	有馬症候群				0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症				0	178	モワット・ウィルソン症候群				0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症				0	179	ウィリアムズ症候群				0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症				0	180	A T R - X 症候群				0
126	ベリー症候群				0	181	クルーゾン症候群				0
127	前頭側頭葉変性症	1		1	2	182	アペール症候群				0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎				0	183	ファイファー症候群				0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症				0	184	アントレー・ピクスラー症候群				0
130	先天性無痛無汗症				0	185	コフィン・シリズ症候群				0
131	アレキサンダー病				0	186	ロスムンド・トムソン症候群				0
132	先天性核上性球麻痺				0	187	歌舞伎症候群				0
133	メビウス症候群				0	188	多脾症候群				0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群				0	189	無脾症候群				0
135	アイカルディ症候群				0	190	鯉耳腎症候群				0
136	片側巨脳症				0	191	ウェルナー症候群				0
137	限局性皮質異形成				0	192	コケイン症候群				0
138	神経細胞移動異常症				0	193	ブラダー・ウィリ症候群				0
139	先天性大脳白質形成不全症				0	194	ソトス症候群				0
140	ドラベ症候群				0	195	ヌーナン症候群				0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん				0	196	ヤング・シンプソン症候群				0
142	ミオクロニー欠伸てんかん				0	197	1 p 36欠失症候群				0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん				0	198	4 p欠失症候群				0
144	レノックス・ガストー症候群				0	199	5 p欠失症候群				0
145	ウエスト症候群				0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群				0
146	大田原症候群				0	201	アンジェルマン症候群				0
147	早期ミオクロニー脳症				0	202	スミス・マギニス症候群				0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん				0	203	22q11.2欠失症候群				0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群				0	204	エマヌエル症候群				0
150	環状20番染色体症候群				0	205	脆弱X症候群関連疾患				0
151	ラスムッセン脳炎				0	206	脆弱X症候群				0
152	P C D H 19 関連症候群				0	207	総動脈幹遺残症				0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎				0	208	修正大血管転位症				0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症				0	209	完全大血管転位症				0
155	ランドウ・クレフナー症候群				0	210	単心室症				0
156	レット症候群				0	211	左心低形成症候群				0
157	スタージ・ウェーバー症候群				0	212	三尖弁閉鎖症				0
158	結節性硬化症	1		1	2	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症				0
159	色素性乾皮症				0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症				0
160	先天性魚鱗癬				0	215	ファロー四徴症	1	1		2
161	家族性良性慢性天疱瘡				0	216	両大血管右室起始症				0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1			1	217	エプスタイン病	1			1
163	特発性後天性全身性無汗症				0	218	アルポート症候群				0
164	眼皮膚白皮症				0	219	ギャロウェイ・モワト症候群				0
165	肥厚性皮膚骨膜炎				0	220	急速進行性糸球体腎炎			1	1

表 2-1 指定難病特定医療費給付状況（疾患名・市町別）

N0	疾患名	古河市	五霞町	境町	管内	N0	疾患名	古河市	五霞町	境町	管内
221	抗糸球体基底膜腎炎				0	271	強直性脊椎炎			1	1
222	一次性ネフローゼ症候群	3			3	272	進行性骨化性線維異形成症				0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎				0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症				0
224	紫斑病性腎炎	1			1	274	骨形成不全症				0
225	先天性腎性尿崩症				0	275	タナトフォリック骨異形成症				0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）			1	1	276	軟骨無形成症				0
227	オスラー病	1			1	277	リンパ管腫症/ゴーム病				0
228	閉塞性細気管支炎				0	278	巨大リンパ管奇形（顔部顔面病変）				0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）				0	279	巨大静脈奇形（顔部口腔咽頭びまん性病変）				0
230	肺胞低換気症候群				0	280	巨大動脈奇形（顔部顔面又は四肢病変）				0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症				0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群				0
232	カーニー複合				0	282	先天性赤血球形成異常性貧血				0
233	ウォルフラム症候群				0	283	後天性赤芽球瘡				0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く）				0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血				0
235	副甲状腺機能低下症				0	285	ファンconi貧血				0
236	偽性副甲状腺機能低下症				0	286	遺伝性鉄芽球性貧血				0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症				0	287	エプスタイン症候群				0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症				0	288	自己免疫性出血病XIII				0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症				0	289	クローンカイト・カナダ症候群	1			1
240	フェニルケトン尿症				0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症				0
241	高チロシン血症1型				0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）				0
242	高チロシン血症2型				0	292	総排泄腔外反症				0
243	高チロシン血症3型				0	293	総排泄腔遺残				0
244	メープルシロップ尿症				0	294	先天性横隔膜ヘルニア				0
245	プロピオン酸血症				0	295	乳幼児肝巨大血管腫				0
246	メチルマロン酸血症				0	296	胆道閉鎖症				0
247	イソ吉草酸血症				0	297	アラジール症候群				0
248	グルコーストランスポーター1欠損症				0	298	遺伝性膝炎				0
249	グルタル酸血症1型				0	299	嚢胞性線維症				0
250	グルタル酸血症2型				0	300	I g G 4 関連疾患	1			1
251	尿素サイクル異常症				0	301	黄斑ジストロフィー				0
252	リジン尿性蛋白不耐症				0	302	レーベル遺伝性視神経症	1			1
253	先天性葉酸吸収不全				0	303	アッシャー症候群				0
254	ポルフィリン症				0	304	若年発症型両側性感音難聴				0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症				0	305	遅発性内リンパ水腫				0
256	筋型糖原病				0	306	好酸球性副鼻腔炎	5	1		6
257	肝型糖原病				0	307	カナバン病				0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症				0	308	進行性白質脳症				0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症				0	309	進行性ミオクローヌスてんかん				0
260	シトステロール血症				0	310	先天異常症候群				0
261	タンジール病				0	311	先天性三尖弁狭窄症				0
262	原発性高カイロミクロン血症				0	312	先天性僧帽弁狭窄症				0
263	脳髄黄色腫症				0	313	先天性肺静脈狭窄症				0
264	無βリボタンパク血症				0	314	左肺動脈右肺動脈起始症				0
265	脂肪萎縮症	1			1	315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）/ L M X 1 B 関連腎症				0
266	家族性地中海熱				0	316	カルニチン回路異常症				0
267	高 I g D 症候群				0	317	三頭酵素欠損症				0
268	中條・西村症候群				0	318	シトリン欠損症				0
269	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群				0	319	セピアブテリン還元酵素（SR）欠損症				0
270	慢性再発性多発性骨髄炎				0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症				0

表 2-1 指定難病特定医療費給付状況（疾患名・市町別）

NO	疾患名	古河市	五霞町	境町	管内	NO	疾患名	古河市	五霞町	境町	管内
321	非ケトース型高グリシン血症				0						
322	β-ケトチオラーゼ欠損症				0						
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症				0						
324	メチルグルタコン酸尿症				0						
325	遺伝性自己炎症疾患				0						
326	大理石骨病				0						
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）				0						
328	前眼部形成異常				0						
329	無虹彩症				0						
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症				0						
331	特発性多中心性キャスルマン病				0						
	合計	828	62	134	1024						

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

(ア) 難病医療講演会・相談会

難病の患者やその家族に対して、在宅療養上の適切な支援を行うことにより、患者・家族の不安解消を図るとともに、安定した療養生活の確保と生活の質の向上を図るため筑西保健所と共催で実施した。

開催日	平成29年9月29日（金）
場所	古河市総和福祉センター（健康の駅） 2階視聴覚室
内容	講演 「サルコイドーシス～疾患の概要と日常生活の留意点～」 講師：自治医科大学附属病院 呼吸器内科 澤幡 美千瑠 医師 交流会
参加者	12名 患者及び家族：12名

(イ) 難病患者等訪問指導

難病のうち神経難病については、在宅療養状況を把握するため、訪問・電話相談等を実施した。

	訪問	面接	電話
延べ件数	14	11	55

(ウ) 在宅重症難病患者一時入院事業

在宅重症難病患者が介護者の休養（レスパイト）等により一時的に介護を受けることが困難になった場合に、適切な医療機関に入院することにより療養生活の確保と介護者の福祉の向上を図るため実施している。

利用件数	0
------	---

7 精神保健福祉事業

(1) 精神科医療救急体制について

精神科救急の措置入院対応については、精神科救急コールセンターにおいて平成8年に休日昼間の警察官通報のみ一括対応を始めてから、平成15年には平日夜間の措置入院について対応し、平成19年には休日夜間にも対応することとなった。そのため保健所における精神科救急の対応は、平日昼間の警察官通報に係る措置入院についてのみ対応することとなった。

また、精神科救急の医療保護・任意入院については、平成12年から休日昼間について輪番制の当番病院が対応することとなり、平成17年には平日夜間についても輪番制の当番病院が対応することとなった。更に、平成25年より、休日夜間についても輪番制当番病院が対応することとなった。

平成29年度精神科救急対応については、次のとおりである。

ア 精神保健診察及び保護の申請状況

区 分	申請・通報		事前調査及び診察結果				
	届出件数	うち 夜間休日	措置入院	医療保護 入院	任意入院	入院不要	診察不要
22条申請（一般）							
23条通報 （警察官）	20	4	10	1		3	6
24条通報 （検察官）	7		6			1	
26条通報 （矯正施設長）	10						10
計	37	4	16	1		4	16

*参考<H28年度>

22条申請（一般）							
23条通報 （警察官）	27	3	20	1		3	3
24条通報 （検察官）	5		4			1	
26条通報 （矯正施設長）	4						4
計	36	3	24	1		4	7

精神保健医療に関する保健所の対応としては、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく23条・24条・26条通報による診察・保護が多数であった。

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第34条（医療保護入院等）に基づく指定医の診察及び移送はなかった。

イ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく定期病状報告・届出の受理状況

年 度	措置入院 者定期病 状報告	措置患者 症状消退 届	医療保護 入院届	医療保護入院届 （第33条2項）	医療保護 入院者定 期病状報 告	医療保護 入院者退 院届
H29		17	188		171	186
H28	1	20	107		175	106

(2) 精神科医療（実地審査）について

措置入院や医療保護入院が適正であるか精神科医師の診察に立ち会い、その審査結果を入院患者の管轄保健所に報告した。

医 療 機 関	実 地 審 査 日	審 査 内 容
猿島厚生病院	平成29年11月10日（金）	医療保護入院 4名
小柳病院	平成30年 1月31日（水）	医療保護入院 4名

(3) 精神保健福祉対策について

精神保健相談を精神科専門医師による精神クリニックと保健師等による家庭訪問、面接・電話相談を実施した。

ア 精神保健相談実施状況

相談内容 年度	精神クリニック		家庭訪問		随時相談 (面接等)		電話 (メール含む)	
	実	延	実	延	実	延	実	延
H29	21	42	43	95	40	66	227	931
H28	29	48	20	42	42	50	125	461
H27	28	52	33	39	102	210	105	403
H26	27	49	7	10	43	81	122	454
H25	27	43	19	36	49	62	121	380

イ 精神クリニック

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	1	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2	21
延件数	4	3	4	3	4	3	3	5	2	3	5	3	42

◆精神クリニック診断名

統合失調症、発達障害、うつ病、産後うつ、人格障害、薬物依存症など

来所者の状況

本人又は本人と家族で来所することが多いが、家族や親族だけの相談も受けた。

家庭訪問内訳

相談件数 年度	実人員	延 人 員									計
		老人	社会 復帰	アルコ ール	薬物	思春 期	心の 健康	ひき こもり	自殺	その他	
H29	43	8		8						79	95
H28	20			5	2					35	42
H27	33				3					36	39
H26	7						2	1		7	10
H25	19							2		34	36

平成29年度面接・電話相談内訳

相談件数	実人員	延 人 員									計
		老人	社会 復帰	アルコ ール	薬物	思春 期	心の 健康	ひき こもり	自殺	その他	
面接相談	40	5		6						55	66
電話相談	227	20		70				16		800	906
メール相談	1			25							25

(4) 精神障害者の明るくらし促進事業について

管内の精神障害者及び家族が安心して地域で生活しながら療養生活が送れるよう、社会資源についての情報提供や災害時への備え等について、講演会や交流会を開催した。

心の健康づくり地域支援啓発事業（精神障害者家族教室）の実施状況

開催日	場所	内容	参加人数
平成29年7月28日(金)	古河福祉の森 会館	高次脳機能障害者支援に関する研修会 講義「高次脳機能障害についての基礎知識・対応」 体験談「当事者・家族との対談」	22名
平成30年3月2日(金)	古河保健所 大会議室	家族教室 「家族のメンタルヘルス ～笑いヨガで健康体操～」 講師 せこ三平氏	18名
平成30年3月5日(月)	古河市 三和庁舎	家族教室 「家族の疑問・悩み」	15名

精神保健福祉担当者連絡会議

平成29年8月25日(金)	古河保健所 大会議室	連絡会議 「管内の精神保健を取り巻く現状と課題」 情報交換等	18名
---------------	---------------	--------------------------------------	-----

安全運転管理者講習会

開催日	場所	内容	参加人数
平成29年5月8日(月)	古河市ユー センター	アルコールの健康障害について 「高次脳機能障害についての基礎知識・対応」	146名
平成29年6月28日(水)			178名

(5) ひきこもり対策推進事業について

思春期・青年期の問題行動や不登校から始まる社会的ひきこもりが問題となっている。
平成24年度から、医師による専門相談と家族教室を新たに開始している。

ア ひきこもり専門相談

○開催回数：2回

○相談件数：実＝3人 延＝4人

イ ひきこもり家族教室

○開催回数：12回

○参加人数：実＝6人 延＝29人

(6) 自殺対策について

平成10年以降全国自殺者数は毎年3万人を超えていた。平成24年以降は3万以下となっているが以前として高い値を推移しているため、引き続き相談窓口や心の健康に関する普及啓発が必要である。平成29年度は自殺予防街頭キャンペーンを実施した。

○自殺防止月間啓発事業：平成30年3月9日（金）
道の駅 まくらがの里こが にて実施 配布計200部

(7) 地域移行・地域定着支援事業について

精神科病院に入院している精神障害者の円滑な地域移行並びに地域定着を図るため、管内関係機関の連携強化と課題の共有を目的に実施した。

地域移行支援研修会

開催日	場所	内容	参加人数
平成29年6月16日（金）	筑西合同庁舎	研修会 「精神障害者の地域移行と地域生活支援～長期入院者への地域移行支援の取組～」 グループワーク	21名

地域移行支援連絡協議会

開催日	場所	内容	参加人数
平成30年3月5日（月）	古河保健所	議題 (1) 古河保健所管内の精神障害者の状況について (2) 退院支援に向けた病院の取り組みについて (3) 意見交換・情報交換	28名

8 健康づくり推進事業

(1) たばこ対策推進事業

ア たばこ対策推進員連絡会

開催日	内 容	出席者数
平成30年 3月14日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県民の喫煙率状況 受動喫煙防止対策について 管内禁煙外来・ヘルシースポット等の紹介 食改事業における禁煙支援 喫煙防止の取り組みの検討 	たばこ対策推進員 3名 市町担当者 4名

イ 茨城県禁煙認証制度登録施設数

平成30年3月31日現在

種 別	官公庁 施設	医療 機関	学校 等	福祉 施設	文化・ 公民館 等	飲食 店・ スーパ ー	一般 企業	そ の 他	合 計
施設数 (うちH29 登録)	12 (1)	72 (7)	54 (1)	43 (3)	22 (1)	17 (2)	50 (3)		270 (18)

ウ 協力事業

全国労働衛生週間準備打合せ会（古河労働基準監督署主催）

開催日：平成29年9月6日（水）

場 所：とねミドリ館

内 容：循環器疾患予防月間における生活習慣病の予防に関する啓発普及、
健康測定コーナーの実施、禁煙認証制度周知

参加者：事業所労働衛生担当者等 143名

(2) ヘルスロード推進事業

管内登録コース：16コース（平成30年3月末現在）

9 栄養改善指導・管理の推進

(1) 栄養改善指導状況

(単位：延人数)

区 分	指 導 対 象			
	栄 養	運 動	休 養	禁 煙
個別指導	48	3		
集団指導	1,157		21	515

(2) 特定給食施設等指導状況 (単位：件)

区 分	特 定 給 食 施 設		その他の給食施設	合 計
	1回100食以上 又は 1日250食以上	1回300食以上 又は 1日750食以上		
個別指導	27	16	26	69
集団指導	30	16	33	79

(3) 食生活改善推進員育成支援

ア 古河市

開催日：平成29年11月16日（木）

場 所：古河福祉の森会館 2階研修室6号

内 容：「食の現状と課題・健康日本21」

参加者：古河市食生活改善推進員 6名

イ 五霞町

開催日：①平成29年6月16日（金） ②平成29年8月23日（水）

場 所：五霞町保健センター 2階集団指導室

内 容：①「食の現状と課題・健康日本21」 ②「献立の立て方と栄養計算」

参加者：五霞町食生活改善推進員 5名

(4) 免許申請関係

ア 栄養士免許

種 別	免許申請	名簿訂正・書換え交付	再交付
件 数	22	17	2

イ 管理栄養士免許

種 別	免許申請	名簿訂正・書換え交付	再交付
件 数	15	4	

(5) 栄養成分表示指導

内 容	指導件数
栄 養 表 示 基 準	6
健康増進法第32条の2 誇大表示の禁止	2

(6) 国民健康・栄養調査

平成29年度は該当地区なし。

10 食育の推進

(1) 食育支援ネットワーク事業

開催日	参加人員	内 容
平成 29 年 8 月 2 日 (水)	370 名	【食育ふれあいフェア in 古河】 <ul style="list-style-type: none"> ・食育体験コーナー (塩分クイズ・食育紙芝居等) ・地産地消 PR コーナー (試食・レシピ配布) ・展示コーナー (健康づくり支援店の紹介) ・健康づくり支援店によるヘルシーメニューの提供
平成 29 年 9 月 6 日 (水)	143 名	【労働安全衛生週間準備打合せ会】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康測定コーナー (体重・血圧・体脂肪率・腹囲・握力) ・禁煙認証制度の普及
平成 29 年 10 月 14 日 (土)	370 名	【情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・食育関連資料の配布
平成 30 年 3 月 14 日 (水)	6 名	【管内市町食育担当者会議】 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村食育推進計画策定について ・管内市町の健康課題とその改善策・取組みについて

(2) 若い世代の食育推進事業

開催日	参加人員	内 容
平成 29 年 12 月 19 日 (火)	121 名	場所：県立総和工業高等学校 講座：病気を防ぐ食の知識を学ぼう！ ～目指せ！エプロン男子！！～

(3) いばらき健康づくり支援店推進事業

ア 登録勸奨・普及啓発

会 議 等	内 容	対象者数
管内各市町食生活改善推進協議会	・健康づくり支援店制度説明	11 名
食品衛生責任者実務者講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり支援店制度説明 ・登録勸奨 	437 名
全国労働衛生週間準備打合せ会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり支援店制度説明 ・登録勸奨 	143 名
管内集団給食研修会及び給食施設講習会	・健康づくり支援店制度説明	62 名
個別店舗訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・申請ガイドラインの説明 ・登録勸奨 	9 店舗

古河関東ド・マンナカ祭り	・ 健康づくり支援店周知チラシの配布	370名
食育ふれあいフェア in 古河	・ 健康づくり支援店周知チラシの配布	370名

イ 登録店状況 (平成30年3月末現在)

登録数 23 件 (一般飲食店：14 件，事業所給食：6 件，弁当・惣菜店：3 件)

※ 平成29年度増加件数 2 件

1.1 健康増進事業の推進

(1) 健康増進事業への補助

健康増進法に基づき，市町が行う健康増進事業に対する補助を行った。

補助先：市町

補助率：県 1 / 3 (国 1 / 3，市町 1 / 3)

補助内容：健康手帳の交付，健康教育，健康相談，健康診査，機能訓練，訪問指導，
総合的な保健推進事業

※管内市町健康増進事業実績については，表 1，2 参照。

表1 健康増進事業実績

項目 市町名	健康診査			健康教育						健康相談				機能訓練			訪問指導	
	受診人員			個別健康教育(実人員)			集団健康教育			重点		総合		実施回数	被指導人員(実)	被指導人員(延)	被訪問人員(実)	被訪問人員(延)
	歯周疾患 検診	骨粗鬆症 検診	肝炎ウイ ルス検診	高血圧	脂質異常	糖尿病	喫煙	実施回数	参加人員 (延)	実施回数	被指導人員 (延)	実施回数	被指導人員 (延)					
古河市			2,018					91	4,861	18	460	15	253				132	137
五霞町			95					42	1,198			4	8				28	28
境町	58	239	64					27	1,514	2	60	13	142				67	67
管内計	58	239	2,177					160	7,573	20	520	32	403				227	232

表2 ガン検診受診状況

①胃がん

市町	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
古河市	61,201	5,563	9.1
五霞町	4,128	631	15.3
境町	10,914	1,426	13.1
管内計	76,243	7,620	10.0

②大腸がん

市町	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
古河市	61,201	10,802	17.7
五霞町	4,128	1,122	27.2
境町	10,914	3,194	29.3
管内計	76,243	15,118	19.8

③肺がん

市町	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
古河市	61,201	10,523	17.2
五霞町	4,128	1,089	26.4
境町	10,914	3,718	34.1
管内計	76,243	15,330	20.1

④子宮がん

市町	対象者数 (人)A	受診者数 (人)B	受診率 (%)C	前年度 受診者数 (人)D	2年連続 受診者数 (人)E
古河市	45,061	6,801	18.9	6,871	5,137
五霞町	2,800	525	24.3	525	371
境町	7,764	1,438	24.8	1,593	1,107
管内計	55,625	8,764	20.0	8,989	6,615

⑤乳がん

市町	対象者数 (人)A	受診者数 (人)B	受診率 (%)C	前年度 受診者数 (人)D	2年連続 受診者数 (人)E
古河市	29,993	5,048	18.4	3,882	3,411
五霞町	1,950	358	18.0	92	99
境町	5,229	1,181	25.3	703	561
管内計	37,172	6,587	19.4	4,677	4,071

※子宮がん・乳がん検診受診率算出式

受診率C =
(受診者数B + 前年度受診者数D - 2年
連続受診者数E) ÷ 対象者数A × 100

※受診率算出のための受診者数は、子宮
がんは「頸部」、乳がんは「視触診及び
マンモグラフィ」受診者である。

※表1, 表2とも「平成28年度分地域保健・健康増進事業報告」よりデータ抜粋。

(2) 地域・職域連携推進事業

開催日・場所	内 容	参加者数
平成 30 年 2月7日(水) 古河保健所 大会議室	1 特定健診・特定保健指導, がん検診等の実施状況及び課題について (1)古河・坂東保健医療圏域市町の実施状況 (2)茨城県内の特定健康診査等の実施状況について (3)職域の定期健康診断の実施状況 (4)事業所における特定健康診査等の実施状況 2 情報提供「中小企業への健診受診勧奨の取組み紹介」 3 協議 「受動喫煙防止対策について」	17 機関 22 名

1 2 歯科保健の推進

(1) 8020・6424推進事業

ア 市町村歯科保健推進事業

開催日・場所	内 容	参加者数
平成 29 年 7月7日(金) 古河保健所 相談室 2	行政説明 (1)歯科保健に関する情報提供 (2)古河保健所管内の歯科保健の現状について (3)モデル地区でのフッ化物応用推進事業について	管内市町 職員 6名

イ 出張障害者口腔ケア事業

開催日・場所	内 容	参加者数
平成 29 年 8月9日(水) まくらがの里 どんぐり	(1)講演 むし歯と歯周病について (2)ブラッシング指導 講師：茨城県歯科衛生士会 飯村 伶子 氏・大島 宏子 氏 対象：通所者, 家族及び職員	通所者 家族 14名 職員 5名

13 総合がん対策事業
がん予防・検診講習会

開催日・場所	内 容	参加者数
平成 30 年 2 月 14 日(水) 古河市中心公民館 視聴覚室	講演 「乳がん体験者からのメッセージ」 講師：特定非営利活動法人つくばピンクリボンの会 中野潤子 氏・山田陽子 氏 対象：古河市女性ネットワーク委員会役員等	会員 49 名

14 母子保健事業

少子化・核家族化の進行に伴い母子保健を取り巻く環境は大きく変化しており、心身ともに健やかな子を産み育てるため、思春期から妊娠・出産・乳幼児期、小児期をとおして一貫した支援、保健サービスが必要である。そのため、市町とともに発達障害児の早期発見や児童虐待防止等の対策を実施した。

発達障害児の心身の健全な発達及び円滑な社会生活の促進のため、発達相談等を実施し、障害の早期発見の充実に努めるとともに適切な指導と療育支援に努めた。

二次スクリーニング機能強化事業（移動発達相談）において、集団生活の場である幼稚園や保育所に出向き発達相談の強化を図った。また、子どもの健やかな成長を支えるため、子育て支援にかかわる地域の関係職員等に対して、発達障害支援に必要な研修を実施した。

さらに、長期にわたり療育を必要とする長期療養児及び保護者等に対しては、日常生活における健康の保持増進を図るため講演会を実施した。

また、要支援妊産婦の早期把握と保健指導等の支援体制の強化を図るため、ハイリスク妊産婦支援体制整備事業を実施し、管内各医療機関及び各市町の要支援妊産婦への支援体制、連携体制の現状及び課題等の情報共有を行った。

(1) 保健指導及び健康相談

ア 保健指導及び健康相談について

区分	妊産婦		乳 児		幼 児		思春期		その他	
	(実)	(延)	(実)	(延)	(実)	(延)	(実)	(延)	(実)	(延)
訪問					3	5				
面接					14	16			2	3
電話	1	1			26	26			10	22
計	1	1			43	47			12	25

(2) 総合母子保健・福祉相談指導事業

ア 発達相談支援事業について

身体、精神及び運動機能発達の問題を持つ乳幼児とその保護者等に対して、児童精神科医師・心理判定員・保健師等による疾病の早期発見及び適切な育児相談指導を隔月（奇数月）で実施した。

①発達相談支援事業

表1 平成29年度相談者性・年齢別内訳（実人員）

区 分	0～2歳	2～3歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	6～7歳	7～10歳	10歳～	合 計
男			1	2	1				4
女			3						3
計			4	2	1				7

表2 相談経路

相 談 経 路		実人員
市町村から勧められた（乳幼児健康診査の結果で）		2
市町村から勧められた（その他）		1
保育所・幼稚園・認定こども園等から勧められた		2
医療機関から勧められた		
その他	保護者の希望	2
	移動発達相談の際に勧められた	
計		7

表3 相談内容

相談内容	実人員	延人員
ことばの問題	4	4
多動・衝動性	1	1
注意力の障害		
場面緘黙	1	1
集団生活が困難	1	1
計	7	7

表4 相談結果

相談結果内訳	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
発達障害疑い		2					
アスペルガー症候群疑い			2			1	
自閉症					3	2	
自閉症傾向			1	1			
精神発達遅滞		1				1	1
PDD傾向							1
多動			1	1		1	1
発達障害又は環境要因					4	1	1
強迫観念							1
ことばの遅れ	4	1	1	4		2	1
構音障害			1				1
場面緘黙					1		
全体的に遅れている			2	2	2		
過剰適応				1			
睡眠障害				1			
歩容異常			1				
こだわり・落ち着きがない			1				
吃音・多動傾向			1				
衝動統制が低い			1				
明らかな問題はない (要フォロー)		2		2			
正常発達	3	2	2	2	1	1	2
計	7	8	14	14	11	9	9

②二次スクリーニング機能強化事業（移動発達相談事業）

心理判定員及び保健師が保育所等に出向き、発育発達や健康に関する個別相談に応じ、児の健康な発育発達を支援した。平成29年度は、8回（認定こども園4か所、幼稚園1か所、保育所3か所）実施した。

表1 平成29年度相談者年齢別内訳（実人員）

区分	0～1歳	2～3歳	4～5歳	6歳～	合計
男		6	5		11
女		1	4		5
計		7	9		16

表2 相談経路

相談経路	実人員
保護者が相談を希望	1
認定こども園から勧められた	9
幼稚園から勧められた	1
保育所から勧められた	5
計	16

イ 総合母子保健・福祉ネットワーキング事業について

管内の母子保健の推進及び発達障害児等への療育相談指導体制や母子保健における児童虐待防止の強化を図るため会議等を開催した。

①連絡会議の開催

開催日・場所・会議の名称	参加者	内 容
平成29年7月7日(金) 古河保健所 大会議室 「管内母子保健担当者会議」	管内各市町の母子保健担当者 5名 児童相談所職員 1名 保健所職員 4名 計10名	(1)平成28年度管内市町母子保健事業実績について (2)平成29年度古河保健所母子保健事業について (3)古河保健所管内の歯科保健の現状について (4)情報交換 * 歯科保健担当者会議同時開催
平成30年3月7日(水) 古河保健所 大会議室 「発達障害児の支援ネットワーク会議」	療育機関職員(医療機関含む) 8名 保育所保育士・幼稚園教諭等 6名 管内市町の児童福祉・母子保健 ・教育担当者 5名 特別支援学校コーディネーター 1名 児童相談所職員・保健所職員 4名 計24名	(1)管内における発達障害のある児への支援の現状 (2)講話「発達障害のある児の成長を地域で支えるために」 講師 川口短期大学 丹羽健太郎 氏 (3)情報交換 連携強化のための現状と課題 今後の取り組み

②研修会の開催

開催日・場所	参加者数	内 容
平成29年12月14日(木) 常総市石下総合福祉センター (筑西保健所・常総保健所と合同開催)	参加者 19名(管内) ・保育士・幼稚園教諭 ・小学校職員 ・市町保健師	講演 「気になる行動をとる子どもの就学を見据えた支援」 講師 筑波大学人間関係障害科学域 塩川 宏郷 氏
平成30年2月15日(木) 筑西市役所 (筑西保健所・常総保健所と合同開催)	参加者 4名(管内) ・産科医療機関担当者 ・市町保健師	講演 「「児童虐待予防のためのケースアセスメントとプランニング方法」～フィッシュボーンを用いて～」 講師 社会福祉士事務所ソーシャルワークス代表 麻生 洋 氏
平成30年3月12日(月) 古河保健所 (筑西保健所・常総保健所と合同開催)	参加者 18名(管内) ・産科医療機関担当者 ・市町保健師	講演 「精神科医から見た周産期のメンタルヘルスと支援のポイント」 講師 小柳病院 院長 大垣 悠子 氏

(3) 長期療養児療育相談事業

長期にわたり療育を必要とする長期療養児及び保護者等に対して、日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図るため講演会・相談会を開催した。

ア 医療講演会の開催

開催日・場所	参加者数	内 容
平成29年11月2日(木) 古河保健所2F大会議室 (筑西保健所・常総保健所と合同開催)	参加者 21名(管内) ・ダウン症の児 ・ダウン症児を持つ保護者 ・関係機関 ・保健所職員	講演 「ダウン症の療育について」 講師 茨城県立協和特別支援学校 特別支援コーディネーター 江幡 範子 教諭 学校紹介, 交流会

イ ピア相談会

開催日・場所	参加者数	内 容
平成29年12月1日(金) 古河保健所1F相談室2	参加者 4名 ・ダウン症の児を持つ 保護者	ピア相談員による相談 主な相談 ・本人の気持ちの変化について ・就学や将来について ・接し方について ・利用できるサービスについて

(4) 妊産婦支援体制

要支援妊産婦の早期把握と保健指導等の支援体制の強化を図るため、管内母子保健担当者、産科医療機関の関係職種と要支援妊産婦支援体制整備に係る連絡会議、ケース会議を行った。

ア 連絡会議

開催日・場所	参加者数	内 容
平成29年7月7日(金) 古河保健所 大会議室	15名 内訳 管内市町母子保健担当者 5名 管内各医療機関の助産師・看護師等 5名 児童相談所職員 1名 保健所職員 4名	(1) 要支援妊産婦支援連携体制について ・平成28年度の振り返り ・様式の使いやすさや連絡方法の工夫等 (2) 今年度のケース会議の進め方について (3) 情報交換 (各機関の取組状況等)

イ ケース会議

開催日・場所	参加者数	内 容
平成29年11月10日(月) 古河市 健康の駅	15名 内訳 管内市町母子保健担当者 8名 管内各医療機関の助産師・看護師等 4名 保健所職員 3名	(1) 要支援妊産婦事例検討 (2事例) 古河市 茨城西南医療センター病院 (2) 情報交換 要支援事例の情報共有 等
平成30年2月23日(金) 茨城西南医療センター病院	24名 内訳 管内市町母子保健担当者 8名 管内各医療機関の助産師・看護師等 6名 少子化対策課 1名 筑西児童相談所相談員 1名 古河保健所職員 3名 常総保健所管内 5名	(1) 要支援妊産婦事例検討 (2事例) 坂東市 茨城西南医療センター病院 (2) 情報交換 相談窓口の周知方法等について 外国人への対応について 等 (3) 連携上の課題について

(5) 母子医療給付状況

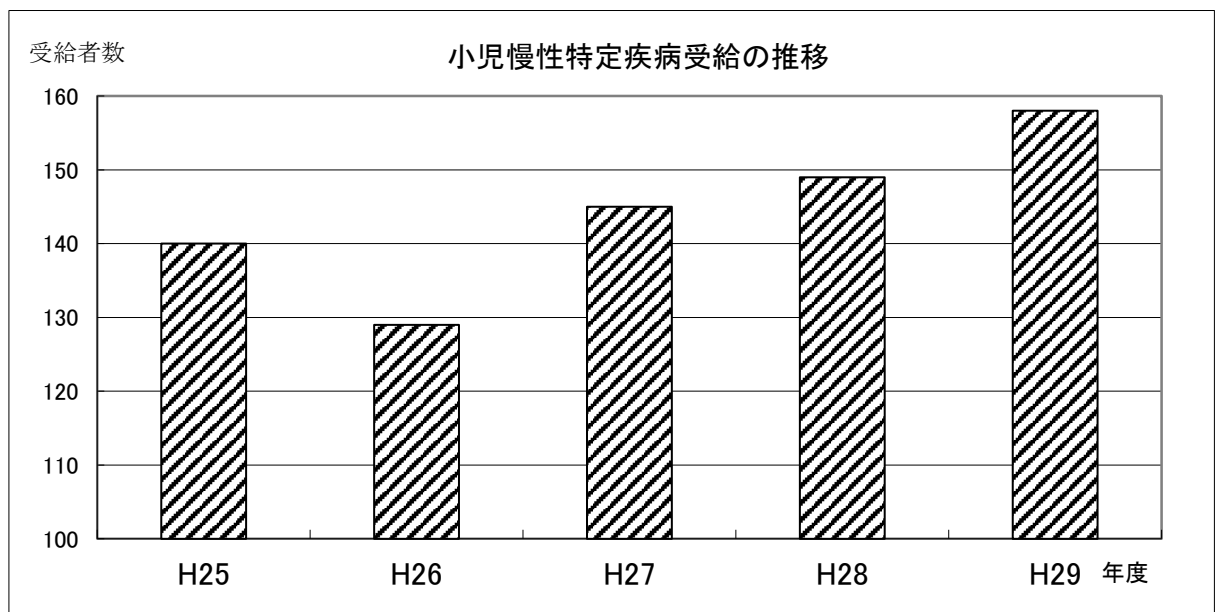
ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給児数

平成27年1月1日から医療費助成の対象となる「小児慢性特定疾病」が、従来の514疾病（11疾患群）から704疾病（14疾患群）に拡大され、さらに平成29年4月1日から18疾患が追加され、722疾患（14疾患群）に拡大された。

平成29年12月31日をもって月額自己負担上限額の経過措置（3年）が終了となったが、重症認定基準である「高額な医療が長期的に継続するもの」が適用となり、経過措置期間と変わらない児も多くいる。

小児慢性特定疾病受給者数の推移 各年度3月31日現在

年度 疾患別		年度					市町内訳		
		H25	H26	H27	H28	H29	古河市	五霞町	境町
1	悪性新生物	12	10	14	16	14	10	2	2
2	慢性腎疾患	10	8	11	13	12	8	1	3
3	慢性呼吸器疾患	6	5	4	2	5	5		
4	慢性心疾患	41	40	39	39	44	34	3	7
5	内分泌疾患	41	35	35	33	31	26		5
6	膠原病	8	5	5	6	7	5		2
7	糖尿病	9	7	10	10	7	7		
8	先天性代謝異常	2	2	1					
9	血液疾患	1	4	5	4	4	4		
10	免疫疾患		1	1					
11	神経・筋疾患	8	9	10	10	15	11		4
12	慢性消化器疾患群	2	2	5	9	14	9	2	3
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群		1	5	7	5	4		1
14	皮膚疾患								
合計		140	129	145	149	158	123	8	27



イ 不妊治療費助成事業

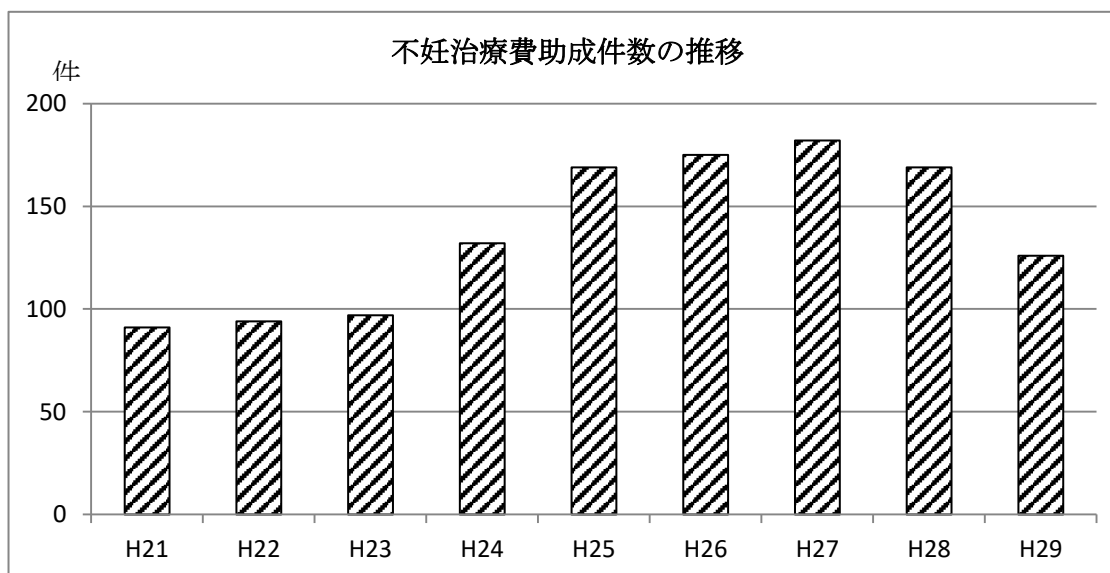
不妊に関する相談を行うとともに、不妊治療に関する適切な情報提供を実施した。また、体外受精や顕微授精にて治療を行っている夫婦に対する特定不妊治療費助成を行い、当該夫婦の経済的及び精神的負担を軽減し、少子化対策の充実を図った。

不妊治療では年齢が上がるにつれて治療効果が出にくくなり、流産や合併症も増えることが指摘されている。晩婚化が進み、助成件数が増えるなかで早い時期に集中的に治療を受けられるよう促した。

不妊治療費助成者数の推移

年度 件数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
申請	91	94	97	132	169	175	182	169	126
助成	91	94	97	132	169	175	182	169	126
うち、男性不妊治療を伴う治療								2	2

- ・ 1回の治療費の助成金額は最高30万円、夫婦の所得制限は730万円である。
- ・ 平成28年度より、助成を受けられる対象を42歳までとする年齢制限が設けられ年間の回数制限がなくなった一方、40～42歳は通算3回まで、39歳以下は6回までとなった。
- ・ 平成28年4月1日より、男性不妊治療として最高15万円が上乗せで助成対象となった。
- ・ 治療終了日が平成29年10月1日以降で、2回目以降の特定不妊治療および初回を含む男性不妊治療に対して、5万円（C、Fの治療は2万5千円）を県独自で増額することとした。



1 平成30年度事務事業執行計画

総務課・地域保健推進室

通年	<ul style="list-style-type: none"> ・公有財産の維持管理 ・職員住宅の維持管理 ・公用車の運行管理 ・備品の管理 ・歳出事務 ・監査・検査事務 ・歳入事務 ・医師等各種免許の申請受付 	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設動態調査 ・病院報告（患者票）受付 ・医事関係届，申請受付 ・医療相談 ・健康危機管理の調整 ・新型インフルエンザ等対策 ・地域ケアシステムの推進 ・地域リハビリテーション事業支援 ・医療機能情報提供制度の推進
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回介護保険認定調査員新規研修 ・五霞町地域ケアシステムサービス調整会議 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・病院立入検査 ・五霞町地域ケアシステムサービス調整会議 ・古河坂東地域医療構想調整会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回介護保険認定調査員新規研修 ・衛生行政報告 ・五霞町高齢者虐待ネットワーク運営委員会 ・古河市地域ケア会議 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・病院立入検査 ・医療機能情報定期報告 ・地域災害医療連携会議
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所等立入検査 ・BANDO メディカルコントロール協議会理事会・総会 ・地域保健・健康増進事業報告 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防担当者研修会 ・病院立入検査 ・医療機能情報定期報告
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所等立入検査 ・五霞町地域ケアシステムサービス調整会議 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険認定調査員現任研修 ・古河保健所管内公衆衛生事業功労者表彰 ・医療機能情報定期報告 ・医師・歯科医師・薬剤師調査
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・古河坂東地域医療構想調整会議 ・第2回介護保険認定調査員新規研修 ・診療所等立入検査 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・古河坂東地域医療構想調整会議 ・古河坂東保健医療福祉協議会 ・五霞町地域ケアシステムサービス調整会議
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回介護保険認定調査員新規研修 ・介護予防研修会 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーション事業検査

衛生課

	食 品	薬 事	生活衛生・水道
通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・営業許可申請受付 ・新規営業施設調査（毎週 火、金） 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局等開設許可及び登録受付並びに調査 ・薬物乱用防止対策班広報活動 ・臓器移植の普及啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業許可及び届出営業受付並びに調査
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・調理師・製菓衛生師試験担当者会議 ・総合衛生管理製造過程更新承認施設立入 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨髄バンク事業担当者会議 ・不正大麻・けし撲滅運動 ・市町村血液業務担当主管課長会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易宿所立入調査 ・市町村等水道担当課長等会議
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生担当者会議 ・食品表示担当者研修会 ・給食研究会講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬事担当者会議 ・茨城県薬物乱用防止指導員協議会総会 ・不正大麻・けし撲滅運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生業務担当者会議
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・給食施設衛生管理検証事業 ・ハサップ普及促進事業技術講習会 ・食肉の試験検査 ・食品衛生監視員研修会 ・ノロウイルス疫学講習会 ・総合衛生管理製造過程更新承認施設立入 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止指導員古河地区協議会総会 ・6.26ヤング街頭キャンペーン ・薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 ・無承認無許可医薬品試買検査 ・不正大麻・けし撲滅運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道週間 ・保健所生活衛生担当課長等連絡会議
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等の給食施設等の監視指導 ・夏期一斉食品取締り ・食中毒予防月間 ・夏期合同巡回 ・調理師・製菓衛生師試験受験願書受付 ・県内農産物の残留農薬収去試験検査 ・食の安全・安心委員会 ・総合衛生管理製造過程更新承認施設立入 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録販売者試験願書受付 ・診療所立入検査 ・不正大麻・けし撲滅運動 	
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期一斉食品取締り ・食中毒予防月間 ・社会福祉施設等の給食施設等の監視指導 ・生食用鮮魚介類試験検査 ・食品衛生監視員協議会関東ブロック研修会 ・加工食品の放射性物質検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・毒物劇物取扱者試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング所（取次店）監視指導 ・理容所巡回指導
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・動物用医薬品の試験検査 ・社会福祉施設等の給食施設等の監視指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録販売者試験 ・毒物劇物取扱者試験合格発表 ・麻薬取扱業務所立入検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・理容所巡回指導
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生フェア、食品表示相談会 ・調理師・製菓衛生師試験 ・社会福祉施設等の給食施設等の監視指導 ・県内農産物の残留農薬収去試験検査 ・食品衛生監視員協議会全国研修会 ・給食施設衛生管理検証事業 ・加工食品の放射性物質検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院立入検査 ・薬と健康の週間 ・麻薬・覚醒剤乱用防止運動 ・麻薬取扱者免許申請受付 ・登録販売者試験合格発表 ・骨髄バンクドナー登録会 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と環境全国大会 ・理容所巡回指導 ・水道実務研修会
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等の給食施設等の監視指導 ・食品衛生責任者実務者講習会 ・給食施設衛生管理検証事業 ・調理師・製菓衛生師試験担当者会議 ・調理師・製菓衛生師試験合格発表 ・HACCPに係る食品衛生監視員研修 ・ノロウイルス予防講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院立入検査 ・毒物劇物運搬車両一斉取締 ・薬物乱用防止スキルアップ研修会 ・茨城県薬剤師学術大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・美容所巡回指導 ・クリーニング師試験
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・年末食品一斉取締り ・年末合同巡回指導 ・食中毒・違反食品事例検討会 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院立入検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・美容所巡回指導 ・クリーニング師試験合格発表
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生監視担当者会議 ・ハサップ普及促進事業施設調査 ・食肉・食鳥肉衛生技術研修会 ・茨城県食品衛生大会 ・輸入食品の試験検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬事担当者会議 ・麻薬免許返納 ・骨髄バンクドナー登録会 	<ul style="list-style-type: none"> ・美容所巡回指導 ・上水道立入検査
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全・安心委員会 		<ul style="list-style-type: none"> ・全国環境衛生職員団体協議会関東ブロック研究発表会 ・生活衛生関係技術担当者研修会
3 月			<ul style="list-style-type: none"> ・専用水道等立入検査

通年	HIV・クラミジア・梅毒検査, 相談 (毎週 火) 肝炎ウイルス検査, 相談 (毎週 火) 感染症審査協議会結核部会 (毎月 第2火) 精神クリニック (毎月 第1火, 第3水) 発達相談支援事業 (奇数月 第2水) 学園病院 DOTS カンファレンス (毎月 第2月) ひきこもり専門相談・家族教室 (月1回)	通年	各種申請等受付・相談 ・指定難病特定疾病医療給付 ・肝炎治療助成費給付 ・小児慢性特定疾病医療給付 ・不妊治療費助成事業 ・被爆者の手当等 (葬祭料等) ・管理栄養士・栄養士免許 ・禁煙認証制度 ・いばらき健康づくり支援店
4月	管内市町健康づくり協力員総会 管内市町食生活改善推進協議会総会・研修会 保健所等感染症・健康危機管理・疾病対策担当課長等会議 保健所精神保健福祉担当課長等会議 保健所総合がん対策・健康づくり担当課長等会議	10月	精神科病院実地審査 精神障害者の明るいくらし促進事業 (家族教室) エイズ・結核予防キャンペーン (ド・マンナカ祭り) 難病医療相談会・難病講演会 (筑西保健所と合同) 感染症研修会 栄養指導員会議 国民健康・栄養調査, 若い世代の食育推進事業 要支援妊産婦支援体制整備のためのケース会議
5月	管内市町食生活改善推進協議会総会・研修会 管内精神保健担当者会議 茨城県食生活改善推進連絡協議会総会 栄養指導員会議 管内集団給食研究会総会・研修会 (給食・感染症) 古河地方家族会総会 要支援妊産婦支援体制整備のための連携会議	11月	国民健康・栄養調査 第2回被爆者定期健康診断 (委託医療機関～12月) 被爆者がん検診 (委託医療機関～12月) 給食施設研修 アルコール, 薬物関連研修会 出張障害者口腔ケア事業
6月	茨城県食生活改善推進員協議会総会 精神障害者地域移行連携会議 管内栄養改善担当者会議 給食施設巡回指導 (6月～10月) 第1回被爆者定期健康診断 (委託医療機関) 保健所母子保健担当課長等会議 管内母子保健担当者会議 指定難病特定疾病医療給付 (更新申請受付～9月) 筑波大学看護学生実習 禁煙週間(5/31～6/6)	12月	国民健康・栄養調査互審会 世界エイズデーキャンペーン (啓発) 精神障害者の明るいくらし促進事業 (家族教室)
7月	管内食生活改善推進協議会役員会 二次スクリーニング機能強化事業 (移動発達相談 7月～9月) つくば国際大学看護学生実習 出張障害者施設口腔ケア研修会 管内栄養改善事業担当者会議	1月	精神病院実施審査 ひきこもり地域連携会議 (事例検討会) 市町村歯科保健支援研修会 健康づくり・歯科・栄養担当者会議 いばらき食育推進大会 先天性血液凝固因子障害等治療費助成 (更新申請) がん予防講演会 栄養指導員会議
8月	社会福祉施設等巡回指導 (8月～9月) 精神障害者の明るいくらし促進事業 (家族教室) 栄養指導員会議, 食育ふれあいフェア 総合母子保健・福祉ネットワーク研修会 (筑西・常総保健所と合同) 要支援妊産婦支援体制整備のためのケース会議	2月	難病支援計画策定・評価委員会 地域・職域連携推進協議会 県健康づくり表彰式 長期療養児支援事業 (筑西・常総保健所と合同)
9月	結核予防週間 (9/24～30) 結核研修会 被爆者二世健診 労働衛生週間事業 (労働衛生協会) への協力 管内食生活推進連絡協議会研修会 地域移行支援連絡協議会 ひきこもり地域連携会議 長期療養児療育相談指導事業 新興感染症患者搬送訓練 (古河赤十字病院) 精神保健福祉関係担当者会議 循環器疾患予防キャンペーン	3月	結核コホート検討会 たばこ対策推進員等連絡会 管内食生活改善推進協議会役員会 自殺対策キャンペーン

2 古河保健所沿革

年 月 日		沿 革	
昭和	19 3 24	設置認可	厚生省茨健第404号をもって設置認可
	20 7 25	保健所開設	古河市雷電町木村氏宅を借用開設 管轄区域 2町16村 戸数 21,149戸 人口 119,120人
	22 4 1	管轄区域変更	猿島郡七重村, 生子菅村及び沓掛村を水海道保健所へ移管
	22 5 3	警察衛生行政業務移管	新憲法施行とともに警察衛生行政業務移管
	22 9 5	保健所法改正	法律第101号をもって保健所法が改正され, 公衆衛生全般に亘る事業を行うことになる
	22 12	人口動態統計事務移管	
	24 1 10	組織変更	庶務課, 保健予防課設置
	24 4 1	管轄区域変更	猿島郡生子菅村が水海道保健所から移管
	24 10 13	新庁舎竣工	古河市大字東二区272番地 敷地面積 606坪 建築面積 156坪
	25 8 1	古河市制施行	古河市制施行により管轄区域が1市1町14村となる。
	27 5	優生保護相談所併設	【平成8年9月26日法改正による廃止まで】
	28 7	性病診断所併設	
	30 2 11	管轄区域の変更及び村名変更	町村合併促進法の施行により猿島郡幸島村及び八俣村と結城郡名崎村が合併して三和村となり古河保健所管轄となる。
	30	管轄村名変更	逆井山村と生子菅村が合併し富里村となる。
	30 3 16	管轄市町村名変更	新郷村が古河市に合併, 勝鹿村, 桜井村, 香取村が合併して総和村となる。また, 境町, 長田村, 静村, 森戸村, 猿島村が合併して境町となり, 管轄区域が1市1町4村となる。
	31 4 1	管轄区域の変更及び町村名変更	富里村と水海道保健所管内の沓掛町が合併して猿島町となり, 古河保健所管内となる。 管轄区域 1市2町3村 戸数 22,538戸 人口 130,969人
	34 2 20	組織変更	衛生課設置
	43 1 1	管轄村名変更	町制施行により総和村が総和町となる。
	43 7 1	組織変更	保健婦室設置
	44 1 1	管轄村名変更	町制施行により三和村が三和町となる。
	47 6 1	組織変更	公害室設置
	48 3 31	新庁舎竣工	古河市北町6番22号(現在地) 敷地面積 4,105.73㎡ 建築面積(延) 1,132.96㎡ その他の附帯工事
	51 6 1	組織変更	係設置
53 6 2	組織変更	係制廃止, 担当グループ制導入	
平成	1 2 22	駐車場敷地拡張	新規拡張面積 1,653.8㎡ 延敷地面積 5,759.53㎡
	2 4 1	組織変更	組織改正により, 保健予防課及び保健婦室が併合され健康増進課及び保健指導課となる。 公害室関係業務が県西地方総合事務所へ移管される。
	6 4 1	組織変更	地域保健推進室設置
	8 6 1	管轄村名変更	町制施行により五霞村が五霞町となる。
	10 4 1	組織変更	組織改正により, 健康増進課及び保健指導課が併合され健康指導課となる。
	11 4 1	組織変更	グループ制廃止【昭和53年6月～】
	17 3 22	管轄区域変更	猿島郡猿島町が坂東市編入に伴い水海道保健所へ移管
	17 9 12	管轄市町名変更	市町合併により総和町, 三和町が古河市となる。 管轄区域 1市2町(古河市, 五霞町, 境町) 管内人口 180,847人 面積 193.25㎡ 世帯数 59,139世帯
	19 3 13	庁舎耐震補強工事竣工	鉄骨K型耐震補強 コンクリート壁増設耐震補強
25 5 24	太陽光発電設備設置工事竣工	太陽光パネル最大発電量 20kw/h 蓄電池容量 16.2kw	